

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005001	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育B棟44		
対象学生(クラス等) / Object Student	2M1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜1限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は、英語の表現形式に親しみ、使い、練習しながら、英語的な思考・表現の理解を深め、読む、書く、聞く、話すというコミュニケーション技能を統合して高めることに重点をおきます。		
授業到達目標/Goal	コミュニケーション能力を習得するために、英語の論理で成り立った、基礎的な情報伝達パターンの理解を深め、相手の意見を把握し、自分の考えを相手に伝えるコミュニケーション技能を習得し、英語学習への関心と自信を持つことを目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	短い練習問題からはじめ、授業の進度に応じてニュース等の具体例の検討を通して、グループワークや発表を行います。また、必要に応じて文法や語句の説明を行います。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	コミュニケーション能力、クリティカルシンキング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Thinking in English: Language Skills and Information Mapping for Clear Communication Cengage 1700yen 英語の辞書 必要に応じてハンドアウトを適宜配布。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	E-Learning(20%)、授業活動・課題への積極的参加(40%)、期末試験(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	基本的に授業には毎回遅れないように出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で1回の欠席とカウントしますので注意してください。最初の授業は、この授業の計画を説明するので必ず出席してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	introduction		
第2回	unit1		
第3回	unit1		
第4回	unit2		
第5回	unit2 3Step小テスト		
第6回	unit3		
第7回	unit3		
第8回	unit4		
第9回	unit4		
第10回	unit5		
第11回	unit5 3Step小テスト		
第12回	unit6		
第13回	unit6		
第14回	unit6		
第15回	review		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005002	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2M2)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 10時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に付ける。暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し、表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>基本的・実用的な英文や英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分が言いたいことを表現できるようになる。語彙を増やし、文法を身に付け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。英語の歌や日常会話を通して、歌の背景や、英米の文化や歴史に対する理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>英語のフレーズの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、英文を容易に覚えらるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して発音する。声に出すことで覚えた英語のフレーズを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピーティングを行うことで、スキルの定着を図る。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>英米の歌にみられる英語表現を中心として、重要な英文について、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチで進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、ダイアログの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。英米の歌とその背景について解説する。歌を通して、英会話とコミュニケーションに対する意欲をさらに持てるように指導していく。</p>		
キーワード/Key word	英米の歌 / 文法と発音の強化 / 英語表現の容易な定着 / コミュニケーションのための文化の理		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『英米人・日本人のこころの歌』(CD付き) (小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>定期試験80%、課外学習の3-learning20%(3 Step CALL 10%、Power Words 10%)を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 【3Stepの小テスト実施日程】授業の原則5回目、12回目(今年度は祝日の関係で11回目)です。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。</p>		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んで下さい。		
学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に出席して下さい。あらかじめ英単語の意味を調べて、大意をつかんでおきましょう。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	4月 7日	導入・授業内容の説明
第2回	4月14日	UNIT 4 Puff (The Magic Dragon)
第3回	4月21日	UNIT 5 Unchained Melody
第4回	4月28日	UNIT 6 Over the Rainbow
第5回	5月12日	UNIT 10 Dreaming of Home and Mother 3Step 小テスト1回目
第6回	5月19日	UNIT 8 Tennessee Waltz
第7回	5月26日	UNIT 11 Long, Long Ago
第8回	6月 2日	UNIT 12 Grandfather's Clock
第9回	6月 9日	UNIT 13 The Last Rose of Summer
第10回	6月16日	UNIT 15・16 Mollie Darling / I've Been Working on the Railroad
第11回	6月23日	UNIT 14 Home on the Range 3Step 小テスト2回目
第12回	6月30日	UNIT 17・18 Foster's Songs (Old Black Joe / Old Folks at Home)
第13回	7月 7日	UNIT 18・19 (・20) Foster's Songs (Old Folks at Home / My Old Kentucky Home / Beautiful Dreamer) (UNIT 3 Amazing Grace)
第14回	7月14日	UNIT 25・26 Twin Songs (Londonderry Air / Danny Boy)
第15回	7月21日	UNIT 26 (・27) Danny Boy (/ Aloha Oe)
第16回	8月 4日	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005003	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川島 浩勝		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	川島 浩勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	川島 浩勝		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟45(call3)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2M3)		
担当教員研究室/Laboratory	長崎外国語大学 3階334研究室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000(内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語の理解能力の基礎を作る。		
授業到達目標/Goal	本授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)リスニングに対応できる語彙数を増やす、3)英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5)英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。		
授業方法(学習指導法)/Method	様々なタスクを用い、リスニングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己のリスニング能力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。なお、シラバスの細部は状況に応じて変更することがある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	口語英語・リスニング・語彙力・ミニマルペアー・連続音		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	基本的に、E-Learning 20%・レポート20%・小テスト&提出物30%・期末試験30%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習の意義を再度考え、課題に意欲的に取り組んで下さい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業方針の説明・英語力診断テスト		
第2回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理1		
第3回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理2		
第4回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理3		
第5回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ1		
第6回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ2, 3Step 小テスト		
第7回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ3		
第8回	これまでの授業のまとめ		
第9回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解1		

第10回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解2
第11回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解3
第12回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解1, 3Step 小テスト
第13回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解2
第14回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解3
第15回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解4
第16回	学期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005004	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M4)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 有介		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 有介		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 有介		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟13		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2M4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	pro-1223@i-next.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	外国語学習への第1歩は既成概念を拭い去り、広い視野を持って学習に臨むことである。イギリスやアメリカの文化・習慣を知ることもちろんのことであるが、日本やアジアの文化・習慣との違いを知ることにより深い英語の表現を学習することができるのである。そして、違いだけでなく実は共通点にも気づくことになるであろう。言語の違いはそれ程問題ではなく、価値観の違いが言語表現の違いを生み出しているとも言えるからである。		
授業到達目標/Goal	無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業方法(学習指導法)/Method	短い英文を読み、読解力を鍛えるとともに文法力の確認、語彙力作文力を通して表現力をの向上を目指す。Speakingの練習も同時に行う。		
授業内容/Class outline/Con	毎回1つのUnitを進めていく。 Reading Comprehension Vocabulary Listening Grammar Summary Let's workを行う。		
キーワード/Key word	Reading/Writing/Listneing/Speaking/Vocabulary/文法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Tomorrow (Pearson)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験30%、中間試験30%、小試験20%、e-learning 20%(3 Step CALL10%、PowerWords10%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション: 授業の進め方・評価の仕方の説明・授業アンケート&クイズ		
第2回	Unit01: The Dreams of Nadeshiko Japan (Sports)		
第3回	Unit02: Dance! Dance! Dance!(Education)		
第4回	Unit03: The Fastest Human in the world (Science)		
第5回	Unit04: TOKYO SKYTREE: A New Japanese Landmark (Architecture) 3stepCALLSystem 1回目		
第6回	Unit05: The Future of Energy: It's Our Choice (Energy)		
第7回	Unit06: Manga and Anime Reach Out to the World (Culture)		
第8回	中間としてのまとめ(テストを含む)		
第9回	Unit07: Sweets Make People Smile (Food)		
第10回	Unit08: Mobile Evolution: From Shoulder Phone to Smartphone (Technology)		
第11回	Unit09: Shine in Your Own Way (Entertainment) 3stepCALLSystem 2回目		
第12回	Unit10: See You in the UK (Country)		
第13回	Unit11: Stay Hungry, Stay Foolish (Person)		
第14回	Unit12: Is There Food for Everyone? (World)		

第15回	Unit13U~Unit15から1つ選択 Unit13: How Does "Endaka" Affect Us? (Economy) Unit14: The Most Popular Philosophy Class in the World (Philosophy) Unit15: Planting the Seeds of Peace (Person)
第16回	全体のまとめ (定期試験を含む)

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005005	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M5)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川島 浩勝		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	川島 浩勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	川島 浩勝		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟45(call3)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2M5)		
担当教員研究室/Laboratory	長崎外国語大学 3階334研究室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000(内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語の理解能力の基礎を作る。		
授業到達目標/Goal	本授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)リスニングに対応できる語彙数を増やす、3)英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5)英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。		
授業方法(学習指導法)/Method	様々なタスクを用い、リスニングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己のリスニング能力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。なお、シラバスの細部は状況に応じて変更することがある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	口語英語・リスニング・語彙力・ミニマルペアー・連続音		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	基本的に、E-Learning 20%・レポート20%・小テスト&提出物30%・期末試験30%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習の意義を再度考え、課題に意欲的に取り組んで下さい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業方針の説明・英語力診断テスト		
第2回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理1		
第3回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理2		
第4回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理3		
第5回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ1		
第6回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ2, 3Step 小テスト		
第7回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ3		
第8回	これまでの授業のまとめ		
第9回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解1		

第10回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解2
第11回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解3
第12回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解1, 3Step 小テスト
第13回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解2
第14回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解3
第15回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解4
第16回	学期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005006	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2M6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	2M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 12時~12時45分		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスはAED,救命救急室など医療に関する素材を用いて、医療についての知識を深め、医療現場で求められる会話表現を訓練します。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。世界で、医療に関してどのようなことが話題になっているのか理解することができるようにします。患者さんとの円滑なコミュニケーションに必要な会話表現を身につけることができますようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習方式で行います。医療現場で頻出する語彙に焦点をあて、定義の確認、正確な意味の習得を目指します。また、リーディングでは、大意を掴む速読の訓練をします。		
授業内容/Class outline/Con	最初に、世界で話題になっている医療問題について、リーディングで理解を深めます。つづいて、医療現場で頻出する語彙の正確な解釈を確認します。速読での大意を掴む練習、または医療現場で求められる会話表現の練習をします。		
キーワード/Key word	caregiver,		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Caregiver -New Edition-(朝日出版社) ¥1,900 + 税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning 20%、授業中の発表を含む定期試験80%		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全出席をしなければ単位は成立しない。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は個別指導を行う。		
学生へのメッセージ/Message for students	英字新聞に目を通したり、テレビの音声を英語音声、英語字幕に切り替えると英語の力がさらにつくと思います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction 教科書販売 Introducing yourselves		
第2回	Summer Weight Gain		
第3回	Sugar in Danger		
第4回	Adult Diapers Outsell Baby Diapers		
第5回	3 Step小テスト1回目 Medical Robots		
第6回	Coffee Drinking Tied to Lower Risk of Suicide		
第7回	How Emergency Rooms Work		
第8回	Keep Your Heart Moving		
第9回	Teens Light Up E-Cigarettes		
第10回	Curing Peanut Allergies		
第11回	3 Step小テスト2回目 Cancer and Poverty		
第12回	AED		
第13回	Global Warming Triggers Disease		

第14回	Health Article 1
第15回	Health Article 2
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/19		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005007	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2K1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 有介		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 有介		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 有介		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2K1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	pro-1223@i-next.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本人の目を通して感じる異文化世界ではなく、外国人が日本で働く際に感じる異文化の世界を疑似体験する。外国人が日本の文化・習慣との違いを知ることにより深い英語の表現を学習することになる。Text教材の洗練されたListeningCDではなく、実際のインタビューの音声を聞くことでListening力を向上させたい。また、DVDの映像によりバーチャルな英語に慣れ親しんでほしい。		
授業到達目標/Goal	無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業方法(学習指導法)/Method	短い英文を読み、読解力を鍛えるとともに文法力の確認、語彙力作文力を通して表現力をの向上を目指す。Speakingの練習も同時に行う。		
授業内容/Class outline/Con	毎回1つのUnitを進めていく。Key Vocabulary Introduction:First Viewing Second Viewing Interview: Predicting Topic 1 Topic 2 Topic 3 Speaking Practice Share Your Ideas: Competing in the Job Market Reading Passage(Comprehension Check Your Opinion)		
キーワード/Key word	Reading/Writing/Listneing/Speaking/Vocabulary/文法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Working in Japan (Alice Gordenker/John Rucynski, Cengage Learning)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験30%、中間試験30%、小試験20%、e-learning 20%(3 Step CALL10%、PowerWords10%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション: 授業の進め方・評価の仕方の説明・授業アンケート&クイズ		
第2回	Unit 1: Sales Can Be like Acting		
第3回	Unit 2: Travel Opens Up the World		
第4回	Unit 3 : Love Sells Cars		
第5回	Unit 4: Translating Is More than Wrds		
第6回	Unit 5: Serve Up the Best Possible Service 3stepCALLSystem 1回目		
第7回	Unit 6: Toast Your Success!		
第8回	中間としてのまとめ(テストを含む)		
第9回	Unit 7: Teaching Is Helping Others Perform Their Besst		
第10回	Unit 8: Build a Happy Life!		
第11回	Unit 9: Life Is Like Riding a Bicycle 3stepCALLSystem 2回目		
第12回	Unit 10: Trade Ideas for Positive Change		
第13回	Unit 11: Connect Workers with Companies		
第14回	Unit 12: Necessity Is the Mother of Invention		

第15回	Unit 13とUnit 14のいずれから1つ選択 Unit 13: What's the Recipe for Success? Unit 14: Help Animals for a Better Society
第16回	全体のまとめ(定期試験を含む)

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005008	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2K2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟33		
対象学生(クラス等) / Object Student	2K2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 10時~10時25分		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、世界を旅した著者の視点から書かれたグローバル問題、言語習得のコツを読み、自分の意見を伝えるライティング力、スピーキング力の養成を行います。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意が取れるようにします。また、各トピックについて、自身の意見を伝えられるようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。リーディングでは大意をとる練習をしながら、速読の訓練をします。関連情報を参考に、視野をひろげ、自身の考えを述べられるようスピーキングやライティングの訓練をします。		
授業内容/Class outline/Con	まず、速読による英文解釈の確認と精読による再確認を行います。つづいて、各トピックについての関連情報で知識を増やします。最後に各トピックについて、自身の意見を伝えられるよう、ライティングやスピーキングの練習を行います。		
キーワード/Key word	Adventures, Language		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Off to the World Adventures in Language and Life (金星堂) ¥1,800+税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	e-learning20%、授業中の発表を含む定期試験80%		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、やむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は個別指導を行う。		
学生へのメッセージ/Message for students	英語字幕、または英語音声でニュース等を見ることが4技能向上の一助になります。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction 教科書販売 速読について		
第2回	Hitchhiking Around the World		
第3回	Olympic Spirit!		
第4回	The Power of Greetings		
第5回	Where's My Hotel?		
第6回	3 Step小テスト1回目 Our Global Connections		
第7回	Welcome Home!		
第8回	The Secret of Life		
第9回	Is This Seat Taken?		
第10回	Exploring World Religions		
第11回	3 Step小テスト2回目 Let's Study Abroad!		
第12回	What's the Most Difficult Language?		
第13回	A Crowded Planet!		

第14回	Vocabulary Roadblocks
第15回	Beware of Landmines!
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/19		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005009	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2K3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川島 浩勝		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	川島 浩勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	川島 浩勝		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2K3)		
担当教員研究室/Laboratory	長崎外国語大学 3階334研究室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000(内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語の理解能力の基礎を作る。		
授業到達目標/Goal	本授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)リスニングに対応できる語彙数を増やす、3)英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5)英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。		
授業方法(学習指導法)/Method	様々なタスクを用い、リスニングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己のリスニング能力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。なお、シラバスの細部は状況に応じて変更することがある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	口語英語・リスニング・語彙力・ミニマルペアー・連続音		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	基本的に、E-Learning 20%・レポート20%・小テスト&提出物30%・期末試験30%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習の意義を再度考え、課題に意欲的に取り組んで下さい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業方針の説明・英語力診断テスト		
第2回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理1		
第3回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理2		
第4回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理3		
第5回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ1		
第6回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ2, 3Step 小テスト		
第7回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ3		
第8回	これまでの授業のまとめ		
第9回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解1		

第10回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解2
第11回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解3 3 Step 小テスト
第12回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解1,
第13回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解2
第14回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解3
第15回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解4
第16回	学期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005010	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村岡 三奈子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	村岡 三奈子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	村岡 三奈子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育B棟15		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2L1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	muraoka@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	映画を教材として、場面や状況に応じた生きた英語表現を身につけることを目指す。		
授業到達目標/Goal	基本的構文および文法事項に留まらず、生きた英語表現や文化的知識を身につけることが出来る。		
授業方法(学習指導法)/Method	原則として、毎週、テキストを1章ずつ進めながら、英語の4技能をバランスよく学習する。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	English Communication		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Dead Poets Society (TSURUMI SHOTEN)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席・授業態度: 10% 小テスト: 10% Discussion 課題: 10% 定期試験: 50% 課外学習の e-learning: 20% (詳細は第1回目の授業で説明)		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回、授業のはじめに単語クイズをしますので、テキストの該当箇所を予習して臨んでください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月 9日: イントロダクション		
第2回	4月16日: 第1章		
第3回	4月23日: 第2章		
第4回	4月30日: 第3章		
第5回	5月 7日: 第4章		
第6回	5月14日: 第5章 / 3-step 小テスト		
第7回	5月21日: 第6章		
第8回	5月28日: 第7章		
第9回	6月 4日: 第8章		
第10回	6月11日: 第9章		
第11回	6月18日: 第10章		
第12回	6月25日: 第11章 / 3-step 小テスト		
第13回	7月 2日: 第12章		
第14回	7月 9日: 第13章		
第15回	7月16日: 第14章		
第16回	7月23日: 定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005011	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 敦子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 敦子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 敦子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2L2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095 - 846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本でも親しまれている英米の物語をCDで聴きながら内容を理解しリスニング力を付ける。正確な発音と英文のリズムを体得する。またテキストの内容に関連した身近で社会的な問題に対して英語で答えたり話し合うことで、英語の表現力を強化する。		
授業到達目標/Goal	CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、内容をおおまかに把握できるようにする。日本語とは異なる英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
授業方法 (学習指導法) /Method	最初にスクリプト中の重要単語の意味、発音のチェックを行う。日本語で内容を把握した後、CDを聴きながらディクテーションを行いスクリプトを完成させる。内容や発音についての問いに答える。大事な構文や表現の優れた文章は暗唱する。最後に内容に関連した様々なテーマについて英語で答えたり、話し合ったりする。		
授業内容/Class outline/Con	毎回リスニングを中心に進める。スクリプトを完成させ内容を把握する。		
キーワード/Key word	リスニング、ディクテーション、語彙		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Story Box Gifts from Great Tellers (センゲージ ラーニング)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への積極的な取り組み状況 (発表) 10%、 定期試験 70%、 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	毎回リスニング、和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
学生へのメッセージ/Message for students	内容それ自体がおもしろく魅力ある物語をテキストとして取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語の学習への動機を高めてくれるでしょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション (授業の進め方について) Unit 1: Happy Prince Part 1		
第2回	Unit 2: Happy Prince Part 2		
第3回	Unit 3: Black Beauty Part 1		
第4回	Unit 4: Black Beauty Part 2		
第5回	Unit 5: Twelfth Night Part 1		
第6回	3step小テスト Unit 6: Twelfth Night Part 2		
第7回	Unit 7: Twelfth Night Part 3		
第8回	unit 8: The Three Musketeers Part 1		
第9回	unit 9: The Three Musketeers Part 2		
第10回	unit 10: The Three Musketeers Part 3		
第11回	Unit 11: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 1		

第12回	3step小テスト Unit 12: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 2
第13回	Unit 13: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 3
第14回	Unit 14: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 4
第15回	授業の総括と復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005012	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤内 則光		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤内 則光		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤内 則光		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2L3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (Ext 335)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。また、この授業ではプロの教師の心構えも身につけていただきたい。		
授業到達目標/Goal	CNN放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。		
授業方法(学習指導法)/Method	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。		
授業内容/Class outline/Con	<p>教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。</p> <p>授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。</p> <p>主教材は、主に現代日本の時事に関するNHK BSのニュースを題材にしたDVD教材。第1回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属のDVDを見て、事前に予習をすること。</p> <p>授業の進行が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVDを見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。また、最終試験の評価割合が少ないので、時間外の学習を怠らないように。</p> <p>定期試験 16回目開講時</p>		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	主教材: What's on Japan 9(金星堂) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>全て主教材より</p> <p>定期試験60%(単語理解8%、本文内容ディクテーション 14%(部分点あり)、内容理解28%、課題英作文 10%(部分点あり))</p> <p>平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出)</p> <p>課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。</p>		
受講要件(履修条件)/Requirements	教科書を購入し、英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4/9 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認		
第2回	4/16 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ		
第3回	4/23 副教材 Unit 3、主教材 教科書 1課、新章へ		
第4回	4/30 副教材 Unit 4、主教材 教科書 1課、新章へ		
第5回	5/7 副教材 Unit 5、主教材 教科書 1課、新章へ		
第6回	5/14 副教材 Unit 6、主教材 教科書 1課、新章へ 3 Step Call 小テスト1回目		

第7回	5/21 副教材 Unit 7、主教材 教科書 1 課、新章へ
第8回	5/28 副教材 Unit 8、主教材 教科書 1 課、新章へ
第9回	6/4 副教材 Unit 9、主教材 教科書 1 課、新章へ
第10回	6/11 副教材 Unit 11、主教材 教科書 1 課、新章へ
第11回	6/18 副教材 Unit 12、主教材 教科書 1 課、新章へ
第12回	6/25 副教材 Unit 13、主教材 教科書 1 課、新章へ 3 Step Call 小テスト2回目
第13回	7/2 副教材 Unit 14、主教材 教科書 1 課、新章へ
第14回	7/9 副教材 Unit 21、主教材 教科書 1 課
第15回	7/16 副教材 Unit 24、主教材 教科書 1 課
第16回	7/30 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005013	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L4)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 敦子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 敦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 敦子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	2L4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095 - 846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本でも親しまれている英米の物語をCDで聴きながら内容を理解しリスニング力を付ける。正確な発音と英文のリズムを体得する。またテキストの内容に関連した身近で社会的な問題に対して英語で答えたり話し合うことで、英語の表現力を強化する。		
授業到達目標/Goal	CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、内容をおおまかに把握できるようにする。日本語とは異なる英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	最初にスクリプト中の重要単語の意味、発音のチェックを行う。日本語で内容を把握した後、CDを聴きながらディクテーションを行いスクリプトを完成させる。内容や発音についての問いに答える。大事な構文や表現の優れた文章は暗唱する。最後に内容に関連した様々なテーマについて英語で答えたり、話し合ったりする。		
授業内容/Class outline/Con	毎回リスニングを中心に進める。スクリプトを完成させ内容を把握する。		
キーワード/Key word	リスニング、ディクテーション、語彙		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Story Box Gifts from Great Tellers (センゲージ ラーニング)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への積極的な取り組み状況(発表)10%、 定期試験 70%、 課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回リスニング、和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
学生へのメッセージ/Message for students	内容それ自体がおもしろく魅力ある物語をテキストとして取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語の学習への動機を高めてくれるでしょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション(授業の進め方について) Unit 1: Happy Prince Part 1		
第2回	Unit 2: Happy Prince Part 2		
第3回	Unit 3: Black Beauty Part 1		
第4回	Unit 4: Black Beauty Part 2		
第5回	Unit 5: Twelfth Night Part 1		
第6回	3step小テスト Unit 6: Twelfth Night Part 2		
第7回	Unit 7: Twelfth Night Part 3		
第8回	unit 8: The Three Musketeers Part 1		
第9回	unit 9: The Three Musketeers Part 2		
第10回	unit 10: The Three Musketeers Part 3		
第11回	Unit 11: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 1		

第12回	3step小テスト Unit 12: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 2
第13回	Unit 13: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 3
第14回	Unit 14: A Connecticut Yankee in King Arthur's Court Part 4
第15回	授業の総括と復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005014	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L5)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤内 則光		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤内 則光		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤内 則光		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2L5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (Ext 335)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。また、この授業ではプロの教師の心構えも身につけていただきたい。		
授業到達目標/Goal	CNN放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。		
授業方法(学習指導法)/Method	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。		
授業内容/Class outline/Con	<p>教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。</p> <p>授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。</p> <p>主教材は、主に現代日本の時事に関するNHK BSのニュースを題材にしたDVD教材。第1回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属のDVDを見て、事前に予習をすること。</p> <p>授業の進行が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVDを見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。また、最終試験の評価割合が少ないので、時間外の学習を怠らないように。</p> <p>定期試験 16回目開講時</p>		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	主教材: What's on Japan 9(金星堂) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>全て主教材より</p> <p>定期試験60%(単語理解8%、本文内容ディクテーション 14%(部分点あり)、内容理解28%、課題英作文 10%(部分点あり))</p> <p>平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出)</p> <p>課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。</p>		
受講要件(履修条件)/Requirements	教科書を購入し、英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4/9 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認		
第2回	4/16 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ		
第3回	4/23 副教材 Unit 3、主教材 教科書 1課、新章へ		
第4回	4/30 副教材 Unit 4、主教材 教科書 1課、新章へ		
第5回	5/7 副教材 Unit 5、主教材 教科書 1課、新章へ		
第6回	5/14 副教材 Unit 6、主教材 教科書 1課、新章へ 3 Step Call小テスト第一回目		

第7回	5/21 副教材 Unit 7、主教材 教科書 1 課、新章へ
第8回	5/28 副教材 Unit 8、主教材 教科書 1 課、新章へ
第9回	6/4 副教材 Unit 9、主教材 教科書 1 課、新章へ
第10回	6/11 副教材 Unit 11、主教材 教科書 1 課、新章へ
第11回	6/18 副教材 Unit 12、主教材 教科書 1 課、新章へ
第12回	6/25 副教材 Unit 13、主教材 教科書 1 課、新章へ 3 Step Call 小テスト2回目
第13回	7/2 副教材 Unit 14、主教材 教科書 1 課、新章へ
第14回	7/9 副教材 Unit 21、主教材 教科書 1 課
第15回	7/16 副教材 Unit 24、主教材 教科書 1 課
第16回	7/30 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005015	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2L6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松元 浩一		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松元 浩一		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松元 浩一		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟13		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育2L6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kmat@		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部本館617号室		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	(1) TOEIC, TOEFL等の読解テストにも役立つように英文を正確に読み(精読), 早く読み解くこと(速読)ができる。 (2) 英文中の重要な語句や表現を習得し, 英語による発信(英作文・英会話)にも応用できる。		
授業到達目標 / Goal	TOEICの読解力問題で70% ~ 80%くらいの正解を得ることができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	(1) 演習形式とする。受講者全員があらかじめ指定された箇所の語句や表現の意味を調べ, 英文の内容を発表できるように予習する。授業ではこちらが無作為に指名するので, 担当者は当てられた箇所を予習をもとに発表する。 (2) 着実に英語の力をつけるために確認テストを2~3回行う。 (3) 発話と聴解の訓練も行う。		
授業内容 / Class outline / Con	英語の力を高めたいのに実力がつかない, 英語は退屈だと思っている学生も楽しく学べるように, テクストの素材は, 内容が豊かで今日的话题を取り上げた英文にしぼり, 注釈も平易な教科書を用意した。予め存分に予習して授業に臨んでもらいたい。		
キーワード / Key word	読解力(精読・速読), 聴解力, 発話力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Yamazaki, Tatsuroh et al. 2015. What's on Japan 9. Kinseido.		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	(1) 授業内容に関する確認テスト第1回~3回の成績 60% (2) G-TELPテスト 20% (3) 課外学習のe-learning 20% (この点に関しては第1回目の授業時に説明する) (4) 「便覧」にあるとおり, 授業総回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を認めない。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	学生便覧を参照。		
学生へのメッセージ / Message for students	授業時には毎回英和辞書を(可能ならば英英辞書も)持参すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方, 評価の説明, 教科書の説明, Unit 1 "Box Stars" (1)		
第2回	Unit 1 "Box Stars" (2)		
第3回	Unit 2 "Tearing down Language Barriers"		
第4回	Unit 3 "Punching Back"		
第5回	授業確認テスト第1回, Unit 4 "Waking up Sleeping Patents"(1)		
第6回	3 Step小テスト		
第7回	Unit 4 "Waking up Sleeping Patents"(2)		
第8回	Unit 5 "Traditional Japanese Cuisine"		
第9回	Unit 6 "The Cost Convenience"		
第10回	授業確認テスト第2回, Unit 7 "New Look at Old Clothes"		
第11回	"Unit 8 "Operating Rooms on Wheels"		
第12回	3 Step小テスト		
第13回	G-TELPテスト		
第14回	Unit 9 "Off the Tourist Trail"		

第15回	Unit 10 "Blindness No Barrier"
第16回	確認テスト第3回 (期末テスト)

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005016	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前川 智子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	前川 智子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	前川 智子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟13		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2E1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-mae@iso-asca.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控え室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後10分		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	自分のこと(詳しい自己紹介)や日常生活(週末のこと、病気や怪我をしたときのこと、休暇中のことなど)を英語で会話したり、人前で大きな声で話せるようになることがねらいである。		
授業到達目標/Goal	自分のこと(出身、クラブ、アルバイト、仕事、趣味、旅行)や家族のことを英語で詳しく書き、人前で堂々と話すことが出来る。週末や休暇中の出来事などを英語で書き、人前で堂々と話すことが出来る。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。		
授業方法(学習指導法)/Method	コース前半では詳しい自己紹介をするための準備(表現を覚えるなど)と会話練習を行う。後半では日常会話文を学びながら、毎回ペアやグループ内でスキットを読みあったり、週末の出来事などを話す練習を行う。スピーチの準備として、教科書のスキットを元にエッセイを書き(宿題)、それを応用して自分自身の出来事を英語で書く(宿題)。更に、それを暗記してクラスで発表する(スピーチ)。コースを通して一人5回の短いスピーチを行う。教員は原則として英語で指導するので、説明を聞く際にも集中しておくこと。学生もペアやグループ内で話すときも出来るだけ英語で話すように心がけ、授業時間全体を英語コミュニケーションの時間としたい。overlapping, shadowing を行い、英語らしい発音・イントネーションを習得すると共に、リスニング力も向上させる。		

授業内容/Class outline/Con	<p>第1回 Orientation 教科書販売、授業の進め方、スピーチの仕方など / Skit 1: Nice to Meet You, Skit2: Family (会話) Junの自己紹介文の書き方、JunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)</p> <p>第2回 Skit 3-6 : Clubs and Jobs、Hobbies、Traveling、Food and Cooking、更に長いJunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)</p> <p>第3回 JunやHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文の音読練習、Skit 1 ~ 7 練習、スピーチの仕方について</p> <p>第4回 <自分の自己紹介文の最終原稿(パソコンうち)提出> スピーチ1: 自己紹介(一班)</p> <p>第5回 スピーチ1: 自己紹介(二班) Skit8: What 's New?, Skit9: How Was Your Weekend? 会話練習、会話文からケン、リカ、ナオト、カオルのことについて(宿題)</p> <p>第6回 リスニング小テスト(1)、Skit 8, 9 の練習、会話練習。上記宿題の音読練習。自分の週末などについて書く(宿題)</p> <p>第7回 会話練習、スピーチ練習</p> <p>第8回 スピーチ2: 週末についてなど(1分以上、全員) Skit 10 を読んで、ヤスとミカについて書く(宿題)</p> <p>第9回 Skit 10: What 's Wrong with You? 会話練習。上記宿題の音読練習。自分や家族が病気・怪我などをした時のことを書く(宿題)</p> <p>第10回 スピーチ3: 病気・怪我・失敗談など(1分以上、全員) Skit 12を読んで、マリとユウタについて書く(宿題)</p> <p>第11回 Skit 12: We 're Having a Party 会話練習。上記宿題の音読練習。パーティや楽しかったイベントなどについて書く(宿題)</p> <p>第12回 リスニング小テスト(2)、Skit 11: What Are You going to Do in the holiday? 会話練習。Skit11を読んで、タロウとアキについて書く(宿題)</p> <p>第13回 スピーチ4: パーティー、イベント、楽しい話など(1分以上、全員) 夏休みの計画、将来の計画などについて書く(宿題)</p> <p>第14回 <スピーチ5の原稿(パソコンうち)提出> スピーチ練習</p> <p>第15回 一班: スピーチ5: 夏休みの計画、将来の計画などについて(3分以上) 二班: スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)</p> <p>第16回</p>
キーワード/Key word	Speaking
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「English Communication in the Classroom」(開文社出版、前川智子編著)
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>E-Learning (リスニング小テストを含む) 20 %</p> <p>スピーチ5回 60 % (15x2、10x3)</p> <p>課題提出・授業中の活動 20 %</p> <p>(提出課題は期限厳守のこと)</p>
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。5回以上欠席すると単位は取得できない。スピーチ発表が5回あるので欠席しないように。スピーチ発表日に病気などやむを得ない理由で欠席した場合は翌週の授業で追試験の機会を設けるが、最終発表欠席は正式な手続きが必要となる。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。
学生へのメッセージ/Message for students	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。提出課題は授業開始前に提出のこと。
授業計画詳細	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	Orientation 教科書販売、授業の進め方、スピーチの仕方など / Skit 1: Nice to Meet You, Skit2: Family (会話) Junの自己紹介文の書き方、JunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)
第2回	Skit 3-6 : Clubs and Jobs、Hobbies、Traveling、Food and Cooking、更に長いJunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)
第3回	JunやHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文の音読練習、Skit 1 ~ 7 練習、スピーチの仕方について
第4回	<自分の自己紹介文の最終原稿(パソコンうち)提出> スピーチ1: 自己紹介(一班)
第5回	スピーチ1: 自己紹介(二班) Skit8: What 's New?, Skit9: How Was Your Weekend? 会話練習、会話文からケン、リカ、ナオト、カオルのことについて(宿題)
第6回	Skit 8, 9 の練習、会話練習。上記宿題の音読練習。自分の週末などについて書く(宿題)
第7回	3-Step小テスト(1) 会話練習、スピーチ練習, Skit 10
第8回	スピーチ2: 週末について等(1分以上、全員) Skit 10 を読んで、ヤスとミカについて書く(宿題)
第9回	Skit 10: What 's Wrong with You? 会話練習。上記宿題の音読練習。自分や家族が病気・怪我などをした時のことを書く(宿題)
第10回	スピーチ3: 病気・怪我・失敗談など(1分以上、全員) Skit 12を読んで、マリとユウタについて書く(宿題)
第11回	Skit 12: We 're Having a Party 会話練習。上記宿題の音読練習。パーティや楽しかったイベントなどについて書く(宿題)
第12回	3-Step小テスト(2)、Skit 11: What Are You going to Do in the holiday? 会話練習。Skit11を読んで、タロウとアキについて書く(宿題)

第13回	スピーチ4：パーティー、イベント、楽しい話など（1分以上、全員）夏休みの計画、将来の計画などについて書く（宿題）
第14回	<スピーチ5の原稿（パソコンうち）提出> スピーチ練習
第15回	一班：スピーチ5：春休みの計画、将来の計画などについて（3分以上） 二班：スピーチ観賞と評価（評価レポート提出）
第16回	二班：スピーチ5：春休みの計画、将来の計画などについて（3分以上） 一班：スピーチ観賞と評価（評価レポート提出）

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005017	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜 2限		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	この授業は、英語の表現形式に親しみ、使い、練習しながら、英語的な思考・表現の理解を深め、読む、書く、聞く、話すというコミュニケーション技能を統合して高めることに重点をおきます。		
授業到達目標 / Goal	コミュニケーション能力を習得するために、英語の論理で成り立った、基礎的な情報伝達パターンの理解を深め、相手の意見を把握し、自分の考えを相手に伝えるコミュニケーション技能を習得し、英語学習への関心と自信を持つことを目標とします。		
授業方法(学習指導法) / Method	短い練習問題からはじめ、授業の進度に応じてニュース等の具体例の検討を通して、グループワークや発表を行います。また、必要に応じて文法や語句の説明を行います。		
授業内容 / Class outline / Con	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観し、英語の表現形式を確認しながら授業を進めます。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることもあります。		
キーワード / Key word	コミュニケーション能力、クリティカルシンキング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Thinking in English: Language Skills and Information Mapping for Clear Communication Cengage 1700yen 英語の辞書 必要に応じてハンドアウトを適宜配布。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	E - Learning (20%)、授業活動・課題への積極的参加(40%)、期末試験(40%)		
受講要件(履修条件) / Requirements	基本的に授業には毎回遅れないよう出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で1回の欠席とカウントしますので注意してください。最初の授業は、この授業の計画を説明するので必ず出席してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	introduction		
第2回	unit1		
第3回	unit1		
第4回	unit2		
第5回	unit2		
第6回	unit3		
第7回	unit3 3 Step小テスト		
第8回	unit4		
第9回	unit4		
第10回	unit5		
第11回	unit5		
第12回	unit6 3 Step小テスト		
第13回	unit6		
第14回	unit6		

第15回	review
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 1
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005018	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 健太郎		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 健太郎		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 健太郎		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟42		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	視聴覚教材とテキストによるインプットをベースにして、自分の意見を表現する英語力を身につける。		
授業到達目標/Goal	TOEIC500点以上の英語力。自分の意見を簡単な英語で表現できる英語力。		
授業方法(学習指導法)/Method	テキスト付属のDVDに収録されたビデオを繰り返し見ることによって聴解力を鍛え、その一方で自習用の教材の音読で表現力を強化し、自分が使える英語表現を増やす。課外学習(3 Step CALLとPowerwords)も組み入れてリスニング力・語彙力も強化する。		
授業内容/Class outline/Con	英語に慣れるために、毎回の授業で英英辞典を使ったクイズ、ビデオクリップについての内容理解などを行う。自習教材の音読発表など適宜グループ活動を組み入れることで、必ず英語を話す時間が毎回の授業であるようにする。自分の意見を表現する英語力を身につけ、最終的には簡単な英語によるプレゼンを行う。また3stepの学習状況を確認するために小テストを行う。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Alice Gordenker / John Rucynski 『Working in Japan』 CENGAGE Learning 浦島久 『1分間で自分のことを話してみる』 中経出版		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験35%、積極的な授業への参加度15%、プレゼンテーション25%(中間提出等を含む)、自主学習レポート5%、課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL 10%、Powerwords 10%)		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回の提出物や、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作等不真面目な態度は減点評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について)		
第2回	Unit 1 Sales Can Be Like Acting		
第3回	Unit 2 Travel Opens Up the World		
第4回	Unit 3 Love Sells Cars		
第5回	Unit 4 Translating Is More than Words		
第6回	Unit 5 Serve Up the Best Possible Service		
第7回	Unit 6 Toast Your Success! 3step小テスト1回目		
第8回	Unit 7 Teaching Is Helping Others Perform Their Best プレゼンテーション・スクリプト提出		
第9回	音読発表会		
第10回	Unit 8 Build a Happy Life!		
第11回	Unit 9 Life Is like Building a Bicycle		
第12回	Unit 10 Trade Ideas for Positive Change 3step小テスト2回目		
第13回	Unit 11 Connect Workers with Companies		
第14回	プレゼンテーション その1		

第15回	プレゼンテーション その2
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005019	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E4)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan@fsinet.or.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	音声言語及び文字言語による基礎的英語運用能力を高めます。より具体的には、日常の事柄や国際社会での出来事に関して、スピーキング又はライティング活動により意見を表現できるようにします。またその前提として、リスニング力とリーディング力にかかわる基礎的スキルを身につけます。		
授業到達目標/Goal	論理的な会話を聞き取り、理解できること。そのうえで、自分の意見を言えること。相手を説得するために論を組み立て、自分の力の範囲内で、できるだけ効果的に言え、書けること。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式。 基本的には2人、あるいは4人で組んで、自分の意見を言う場数を踏みます。 言った後は文で書いてみます。		
授業内容/Class outline/Con	テキストの各ユニットは、それぞれのテーマについて複数の人物が意見を述べ合っている長めの会話 Dialogue を中心に構成されています。Dialogue を聞き、発音練習してから、Comprehension でいくつかの設問に答えて内容が理解できているかをチェックし、Dictation では内容の要約文の欠落箇所を聞き取って書きます。Discussion はこの内容に関わる議論を周りの人とし、What's your opinion? では、応用として新たに出されたテーマについて意見を言います。これらの活動のまとめとして、Write a paragraph では、文を書き、これは毎回提出します。さらに Start a conversation や Role-play を利用して、さらにスキルを磨きます。 意見を言うためにはまず自分の意見がなくてはなりません。自分で考えてみる習慣をつけつつ、それを説得的に表現できよう練習します。		
キーワード/Key word	まず言ってみる 恥ずかしがらない		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reflections: Talking about Things That Matter, Nan'un-do, CD付き, 1700円+税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験約50%、毎回提出の英作文約25%、授業への参加等約5%、課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則です。教科書を購入して第一回目に臨んで下さい。第一回目から授業に入ります。		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回英作文を提出してもらいます。これは大変ですが、先輩方も頑張ってきましたし、好評でもありました。 予習して授業に臨むことが原則です。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Unit 1 What kind of person do you respect?		
第2回	Unit 2 Are you ready for your first job interview?		
第3回	Unit 3 Do you exercise?		
第4回	Unit 4 Are you afraid of the future?		
第5回	Unit 5 What will happen to the global economy?		

第6回	Unit 6 Have you ever been guilty of telling a white lie?
第7回	3step小テスト(15分程度) Unit 7 Can you eat sushi?
第8回	Unit 8 Hobby, habit, or addiction?
第9回	Unit 9 Can money buy happiness?
第10回	Unit 10 Is it positive or negative peer pressure?
第11回	Unit 11 Do you vote?
第12回	3step小テスト(15分程度) Unit 12 Are you a difficult or an easy person to get along with?
第13回	Unit 13 Can you live without your cellphone?
第14回	Unit 14 What is the most effective way to study?
第15回	Unit 15 Is one gender superior to the other?
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005020	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E5)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター110		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として時事英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。例文には、経済関係のものを多く取り入れる。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、 ^h アワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。レベルによっては、英語によるプレゼンテーションを入れる可能性もあります。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Better Health for Every Day (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、2回のテストでもって評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。小テストを毎回行う。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、復習を行うこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10月2日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	10月9日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)と ^h アワーク(1), Fuel your body and mind.		
第3回	10月16日 第3回 Voice Aerobics, Laughing will save you from going crazy.		
第4回	10月23日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), The French Paradox		
第5回	10月30日 Power Words1回目調査 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), Don't stay away from natto.		
第6回	11月6日 第6回 3STEP小テスト、弱く発音される音, Is snoring a bad sign?		
第7回	11月13日 第7回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(1)、映画による聞き取り(1),		

第8回	11月20日 Power words 2回目調査 第8回 聞こえなくなる音, Getting a good night sleep is a challenge., 速読(2)
第9回	11月27日 第9回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2),
第10回	12月4日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3), Chocolate and its magical power.
第11回	12月11日 第11回 なくなる音, 速読(4), Processed Food.
第12回	12月18日 第12回 3STEP小テスト, ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^h アワーク(3), Environment Health Threats.
第13回	12月25日 第13回 つながる音, Genetically modified food., 速読(5)
第14回	1月8日 G-TELPテスト
第15回	1月22日 Power Words 3回目調査 第14回 速読(6) まとめ Retellingとsummarizing、semantic mapを用いた学習
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005021	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 健太郎		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 健太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 健太郎		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟42		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	視聴覚教材とテキストによるインプットをベースにして、自分の意見を表現する英語力を身につける。		
授業到達目標/Goal	TOEIC500点以上の英語力。自分の意見を簡単な英語で表現できる英語力。		
授業方法(学習指導法)/Method	テキスト付属のDVDに収録されたビデオを繰り返し見ることによって聴解力を鍛え、その一方で自習用の教材の音読で表現力を強化し、自分が使える英語表現を増やす。課外学習(3 Step CALLとPowerwords)も組み入れてリスニング力・語彙力も強化する。		
授業内容/Class outline/Con	英語に慣れるために、毎回の授業で英英辞典を使ったクイズ、ビデオ・クリップについての英問英答などを行う。自習教材の音読発表など適宜グループ活動を組み入れることで、必ず英語を話す時間が毎回の授業であるようにする。自分の意見を表現する英語力を身につけ、最終的には簡単な英語によるプレゼンを行う。また3stepの学習状況を確認するために小テストを行う。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Clara Birnbaum / 高山一郎 『大学生のためのビデオクリップ英語総合学習』 松柏社 浦島久 『1分間で自分のことを話してみる』 中経出版		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験35%、積極的な授業への参加度15%、プレゼンテーション25%(中間提出等を含む)、自主学習レポート5%、課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL 10%、Powerwords 10%)。		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回の提出物や、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作等不真面目な態度は減点評価する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について)		
第2回	Chapter 1 Language: a road to communication		
第3回	Chapter 2 Big Decisions: the less common path		
第4回	Chapter 3 Friendship: the simple joys		
第5回	Chapter 4 Emotional Health: taking care of ourselves		
第6回	Chapter 5 The World: travel and tradition		
第7回	Chapter 6 Celebration: sense of community 3step小テスト1回目		
第8回	Chapter 7 Giving birth: the old and new プレゼンテーション・スクリプト提出		
第9回	音読発表会		
第10回	Chapter 8 Music: so basic, so mysterious		
第11回	Chapter 9 Gender and Language: hidden sexism		
第12回	Chapter 10 Newspapers: different roles 3step小テスト2回目		
第13回	Chapter 11 Art: all about life		
第14回	プレゼンテーション その1		
第15回	プレゼンテーション その2		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005022	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟45(call3)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2T1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月3 火4 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、いろいろな会話場面で十分コミュニケーション活動が行えるようにします。また、日本文化に関して、英語で説明できるような簡単なプレゼンの練習も行い、自信を持って英語を発信できるようにします。		
授業到達目標/Goal	テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化し、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースやダイアログなら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンを、自信をもって英語でできるようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、リスニングの問題の解答を作成して、授業に臨んでください。授業では、CDを用いて解答の確認をし、それらの英文の発話練習を行います。また、それらの英文を利用して、ダイアログを作成したり、テキストの英文を参考にして、簡単な日本文化に関するプレゼンの練習をします。また、2回程度、プレゼンテーション用のスピーチ用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。		
授業内容/Class outline/Con	<p>e-learning 教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自の小テストを行います。</p> <p>授業はテキストを用いて、CDを聞きながら、予習してきてもらったリスニング問題の解答を行います。その後、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、ダイアログを作成したり、日本文化を語るための簡単な英文を作成したりします。</p> <p>さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。</p> <p>なお、e-learning 教材を課題学習として、授業外に行ってもらいますが、授業中も30分程度、3 Step と Power Wordsの学習をしてもらい、その内容の指導や小テストも行います。</p> <p>この授業に関しては、決して受身的な態度で参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		
キーワード/Key word	Repeating, Pair Work, Listening Strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): Let's Make a Skit Presentation! (英宝社) ¥1,800		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、プレゼンペーパー20% 授業でのアクティビティ10% e-learning 20% で行います。 e-learning の内容に関しては、1回目の授業時に説明します。		

受講要件（履修条件）/Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning 教材（3 Step やパワーワード）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション リピーティング練習体験 機能編：質問する、依頼する、確認する等 日本文化を語る 金沢 Power Words Level 6 Unit 1-5 3 Step New York Lives,
第2回	リピーティング練習1 機能編：あやまる、感謝を表す、賛成する等 日本文化を語る 小笠原諸島 3 Step People at Work, Power Words Level 6 Unit 6-10
第3回	リピーティング練習2 主語をつかひこなす 日本文化を語る 長崎県 3 Step People at Work, Power Words Level 6 テスト
第4回	リピーティング練習3 疑問文パターン練習(1) 日本文化を語る 入学式 3 Step People at Work, Power Words Level 6 Unit 11-15
第5回	リピーティング練習4 疑問文パターン練習(2) 日本文化を語る 焼酎 3 Step People at Work, Power Words Level 6 Unit 16-20
第6回	リピーティング練習5 助動詞の気持ちをつかむ(1) 日本文化を語る 留学 3 Step People at Work,小テスト Power Words Level 6 テスト 3 Step 小テスト
第7回	リピーティング練習6 助動詞の気持ちをつかむ(2) 日本文化を語る 漫画 スピーチ練習課題A作成指導 3 Step People at Work, Power Words Level 6 Unit 21- 25
第8回	リピーティング練習7 名詞節が含まれる文(1) 日本文化を語る 祇園祭り スピーチ練習課題A提出 3 Step People at Work, Power Words Level 6 Unit 26-30
第9回	リピーティング練習8 名詞節が含まれる文(2) 日本文化を語る 九州 スピーチ練習課題Aを用いたペア練習 3 Step People at Work, Power Words Level 6 テスト
第10回	リピーティング練習9 完了形の文 日本文化を語る 日本人のマナー スピーチ練習課題Aを用いたペア練習 3 Step People at Work, Power Words Level 6 Unit 31-35
第11回	リピーティング練習10 進行形、受動態を含んだ文 日本文化を語る 野球 3 Step People at Work, Power Words Level 6 Unit 36-40
第12回	リピーティング練習 比較表現 日本文化を語る ラーメン 3 Step People at Work, Power Words Level 6 テスト 3 Step 小テスト

第13回	<p>リピーティング練習12 動詞のパターン練習 日本文化を語る 島津斉彬と集成館 スピーチ練習課題B作成指導 3 Step People at Work, Power Words Level 6 Unit 41-45</p>
第14回	<p>リピーティング練習13 使役動詞のパターン 日本文化を語る 歌舞伎 スピーチ練習課題B提出 ペア練習 3 Step People at Work, Power Words Level 6 Unit 46-50</p>
第15回	<p>リピーティング練習14 知覚動詞のパターンテキスト 日本文化を語る 自動車産業 スピーチ練習課題B ペア練習 3 Step People at Work, Power Words Level 6 テスト</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005023	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟42		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mohican007@hotmail.com 欠席報告はメールではなく、後日届けを提出してください。		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 金 昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語でコミュニケーションを成立させるための様々なスキルを考え、これを実践します。今それぞれが持てる英語力で、最大限のコミュニケーション能力を習得出来るようにします。頭で英文を思い描くために、核となるイメージを養っていきます。また、Group Workを通して、コミュニケーションも豊かにとれるよう積極性を持てるようにします。		
授業到達目標/Goal	簡単な日常英会話を躊躇なく運用出来るようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	理解ある同じ受講生とのコミュニケーションは、プレッシャーを軽減する利点があります。受講生同士ペアやグループを組み、その落ち着いた状況で教科書の会話例をもとにテーマに沿って会話を発展させていきます。		
授業内容/Class outline/Con	Text内の、各UnitにはTopicが設けられて基本的なConversationが成されています。そのTopicとConversationを基礎に各自、各グループで考えられるSituationを想定して、Conversationを展開して行きます。日本人に独特な、発音を出来るだけNativeに近いものに修正し、これまで学んできた英語をPracticalなものになるような授業にいたします。 下記には理想的な進行を計画として立てておりますが、クラスの能力によっては進行を遅くする場合も想定されます。		
キーワード/Key word	脱受験英語 イメージからの英語表現へ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Let's Make a Skit Presentation (英宝社) 各自持っている参考書、辞書(英和、和英) この授業では、辞書はかなり重要です。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Class Attendance and Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯操作等マイナス態度) 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Mid-Term Examination 25% Final Examination 40%		
受講要件(履修条件)/Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人としてのモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。無断欠席回数1/3以上はClass Attendance and Participationを0%と致します。		
学生へのメッセージ/Message for students	中間、期末テストはGroup Workになり、Group内でのコミュニケーションも非常に重要になります。無断欠席、遅刻などは他の受講者にも非常に迷惑をかけることになるので、必ず責任ある態度で講義に望んでください。特に再履修の学生は、この点をよく考えてから決断してください。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9/28 第1回 Introduction		
第2回	10/5 第2回 Unit 1 言語機能別英会話(1) Group Making		
第3回	10/19 第3回 Unit 2,3 言語機能別英会話(2), 主語として便利なwe, you, they Mid-Term Examinationへ向けてTopicを決定		

第4回	10/26 第4回 Unit4,5 疑問文のパターン(1),(2) ~ 10/30 PowerWords 1回目締切り
第5回	11/2 第5回 Unit 6,7 助動詞を使った文(1),(2)
第6回	11/9 第6回 Preparation for the Mid-Term Examination 3Step 小テスト
第7回	11/16 第7回 Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work) ~ 11/20 PowerWords 2回目締切り
第8回	11/30 第8回 Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work)
第9回	12/7 第9回 Unit 8 名詞節を使った文(1) Group Making
第10回	12/14 第10回 Unit 9 名詞節を使った文(2) Final Examinationに向けてTopicを決定 3step 小テスト
第11回	12/21 第11回 Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文
第12回	1/4 第12回 Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文 ~ 1/14 PowerWords 3回目締切り
第13回	1/18 第13回 Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう!
第14回	1/25 第14回 Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう!
第15回	2/1 第15回 Final Examination, Group Presentation
第16回	2/8 第16回 Final Examination, Group Presentation

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005024	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2T3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受付		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業を通して、英語を発信型言語のツールとして活用していく機会とする。		
授業到達目標/Goal	平易な英語を用いて自己紹介ができ、またある程度まとまった内容の英文を平易な英語で要約が素早く簡潔に行えるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業では、前半をリスニングのテストゼミを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いて日本語・英語双方による要約を行う。また、数分程度で英語で自己紹介ができるよう、クラスの前で発表する訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	expressing yourself in English, summary writing		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	リスニング(20%), 課題(20%), E-learning教材(20%), 定期試験(40%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, Sample Listening Test		
第2回	Listening 1, テキストUnit 3 (Fill-in-the-blanks summary)		
第3回	Listening 2, テキストUnit 5 (Questions&Answers in Japanese)		
第4回	Listening 3, テキストUnit 8(Fill-in-the-blanks summary)		
第5回	Listening 4, テキストUnit 11(Fill-in-the-blanks summary)		
第6回	3Step小テスト(1)(約30分程度), テキストUnit 15(Fill-in-the-blanks summary)		
第7回	DVD教材(1), Dictation		
第8回	DVD教材(2), Dictation		
第9回	Listening 5, Email writing (1)		
第10回	Listening 6, Email Witing (2)		
第11回	Listening 7, Email writing (3)		
第12回	3Step小テスト(2), Email writing (4)		
第13回	Listening 8, Email writing (5)		
第14回	Listening 9, まとめ(1)		
第15回	まとめ(2)		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005025	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T4)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	ローン 悦子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	ローン 悦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	ローン 悦子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2年2T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本授業では、大学や社会で必要とされる英会話の基礎能力の習得を目指します。学内外で留学生と英語でコミュニケーションを取る機会がある学生さんや、短長期の留学を考えている学生さんがいらっしゃるかもしれません。また、これからの社会は、職場でもまた家庭でも英語が必要とされる機会がどんどん増えることでしょう。本授業を通して、なかなか機会のない英語コミュニケーション活動に慣れ親しみ、これまでの知識としての英語から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけることを目指します。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> (1) 与えられた写真(あるいは絵)を見て的確に英語で表現することができる。 (2) 会話を聞いて要約できる。 (3) その会話の和訳を英訳できる。 (4) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができる。 (5) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等をネイティブとほぼ同じように音読できる。 		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、毎レッスンLACSを使って小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにauthenticな教材(配布物)、洋画を使用し(DVD視聴)、Readers' theater(朗読劇)などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつながり、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めて行きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) LACSによる小テスト (2) テキストを使用した演習(あるいはReaders' theater活動 録音) (3) 3分間(フリーorトピック)トーク 録音 評価 (4) 洋画視聴(5分程度) <p>提出されたグループワーク、Readers' theaterの録音は、添削評価して返却します。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>第1回の授業で扱う内容や学習方法、評価方法を説明します。</p> <p>授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワークを通して出来る限りスピーキングの機会を設けます。スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater(朗読劇)などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、自分の会話を録音して接続表現、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発音の違いなどを体感をしてほしいと思います。テキスト付属のオンラインワークブック、Self-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価20%)。</p>		
キーワード/Key word	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 3 Student's Book B with Online Workbook』 Cambridge University Press - ISBN:9781107668614を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験30%、授業中の発表及び積極的な姿勢、小テスト、グループワーク、Readers' theater等50%、課外学習のe-learning 20%(3 Step Call System10%、PowerWords10%)を総合的に判断します。		

受講要件（履修条件）/Requirements	教科書、英語辞典（電子辞書も可）を、毎回持参、また毎回授業に出席すること（時間厳守）。各自テキスト付属のオンラインワークブック、Self-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。
学生へのメッセージ/Message for students	英語が話せると世界（チャンス）が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第 1回 9月28日 オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)
第2回	第 2回 10月5日 テキストOnline Workbookの初期設定、Relationships Warm up
第3回	第 3回 10月19日 Relationships
第4回	第 4回 10月26日 Readers' theater (10/30 2年生Power Words 1回目締め切り)
第5回	第 5回 11月2日 Relationships e-learning復習他
第6回	第 6回 11月9日 3 Step 小テストOn Vacation Warm up
第7回	第 7回 11月16日 On Vacation (11/20 2年生Power Words 2回目締め切り)
第8回	第 8回 11月30日 On Vacation
第9回	第 9回 12月7日 Readers' theater e-learning復習他
第10回	第10回 12月14日 3 Step 小テストOn Vacation
第11回	第11回 12月22日 Music Warmm up
第12回	第12回 1月4日 Music (1/14 2年生Power Words 3回目締め切り)
第13回	第13回 1月18日 Music
第14回	第14回 1月25日 Music or Readers' theater
第15回	第15回 2月1日 Review
第16回	第16回 2月8日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005026	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T5)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 真弓		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 真弓		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 真弓		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学部 (2T5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語による情報の受信、発信力を高めることを目的としたクラスです。ビジネスライター、新製品の広告、仕様書、操作マニュアルなど幅広い英語に慣れていきます。		
授業到達目標/Goal	企業で必要となる幅広い内容に関して、英語で情報を受信、発信する能力を向上させることを目標とする。		
授業方法(学習指導法)/Method	1回の授業でテキストの2章ずつカバーしていきます。授業の予習と復習を必ず行なってもらいます。毎回の授業の始めに前週に学習した内容に関する小テストを行います。また、授業の最後にはプレゼンテーションを行ってもらいます。		
授業内容/Class outline/Con	授業はテキストに沿って行います。テキストの内容に応じ、副教材の読み物を取り入れることもあります。毎回の授業は前回の授業の復習小テストから始まります。授業内では4技能すべてを使い、企業で必要となってくる様々な場面での英語に慣れていきます。授業の最後にはプレゼンテーションを行ってもらいます。		
キーワード/Key word	スキミング、スキミング、プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	辻本智子他『Getting Global! Engineering Your Future with English』(金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%, e-learning 20%, プレゼンテーション 20%, 小テスト10%		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Chapter 1 電話の応対 Chapter 2 ビジネスEメールを読む		
第2回	Chapter 3 電話で正確な情報を得る Chapter 4 ビジネスライターから情報を読み取る		
第3回	Chapter 5 来客の応対 Chapter 6 ウェブサイトを閲覧する		
第4回	Chapter 7 会社について説明する Chapter 8 新製品の広告を読み解く		
第5回	Chapter 9 自分の仕事を説明する Chapter 10 製品の仕様書を確認する		
第6回	*3 step 小テスト1回目 Chapter 11 将来のビジネスの展望について語る Chapter 12 操作マニュアルを理解する		
第7回	Chapter 13 時事的会話を楽しむ Chapter 14 英字新聞の構成		
第8回	Chapter 15 観光地を案内する Chapter 16 標識の英語に慣れる		
第9回	Chapter 17 食事の席での歓談 Chapter 18 論文のアブストラクトを読む		
第10回	*3 step 小テスト2回目 Chapter 19 会議の準備をする Chapter 20 グラフを解説する		

第11回	Chapter 21 プレゼンテーションで役立つ表現 Chapter 22 スライドの活用
第12回	Chapter 23 依頼に対応する Chapter 24 特許明細書の様式
第13回	学生によるプレゼンテーション&質疑応答
第14回	学生によるプレゼンテーション&質疑応答
第15回	学生によるプレゼンテーション&質疑応答
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005027	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T6)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 真弓		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 真弓		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 真弓		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学部 (2T6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語による情報の受信、発信力を高めることを目的としたクラスです。ビジネスレター、新製品の広告、仕様書、操作マニュアルなど幅広い英語に慣れていきます。		
授業到達目標/Goal	企業で必要となる幅広い内容に関して、英語で情報を受信、発信する能力を向上させることを目標とする。		
授業方法(学習指導法)/Method	1回の授業で2章カバーしていきます。授業の前の予習と授業後の復習を必ず行ってもらいます。翌週の授業の始めに前週で学習した内容に関する小テストを毎回行います。また、授業の最後にはプレゼンテーションをしてもらいます。		
授業内容/Class outline/Con	授業は、テキストに沿って行います。テキストの内容に応じ、副教材の読み物を読むこともあります。毎回の授業は前回の授業の復習小テストで始まります。授業内では4技能すべてを使い、企業で必要となってくる様々な場面での英語に慣れていきます。授業内では、積極的に発言することを奨励します。授業の最後にはプレゼンテーションを行ってもらいます。		
キーワード/Key word	スキミング、スキミング、プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	辻本智子他 『Getting Global! Engineering Your Future with English』(金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 50点, 3-Step 10点, Power Words 10点, プレゼンテーション 20点, 授業参加態度 10点		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Chapter 1 電話に対応する Chapter 2 ビジネスEメールを読む		
第2回	Chapter 3 電話で正確な情報を得る Chapter 4 ビジネスレターから情報を読み取る		
第3回	Chapter 5 来客に対応する Chapter 6 ウェブサイトを閲覧する		
第4回	Chapter 7 会社について説明する Chapter 8 新製品広告を読み解く		
第5回	Chapter 9 自分の仕事を説明する Chapter 10 製品の仕様書を確認する *3 step 小テスト1回目		
第6回	Chapter 11 将来のビジネスの展望について話す Chapter 12 操作マニュアルを理解する		
第7回	Chapter 13 時事的会話を楽しむ Chapter 14 英字新聞の構成		
第8回	Chapter 15 観光地を案内する Chapter 16 標識の英語に慣れる		
第9回	Chapter 17 食事の席での歓談 Chapter 18 論文アブストラクトを読む		
第10回	Chapter 19 会議の準備をする Chapter 20 グラフを解説する		

第11回	Chapter 21 プレゼンテーションで役立つ表現 Chapter 22 スライドの活用 *3 step 小テスト2回目
第12回	Chapter 23 依頼に対応する Chapter 24 特許明細書の様式
第13回	学生による英語のプレゼンテーション
第14回	学生による英語のプレゼンテーション
第15回	学生による英語のプレゼンテーション
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005028	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T7)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	香川 実成		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	香川 実成		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	香川 実成		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	midvinter.jk@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	09043429702		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日12:00 ~ 12:30、及びEメールにて(midvinter.jk@gmail.com)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英会話における基本フレーズを、大学生活を中心とするシチュエーションを想定し、その中で自由に使えるようになることを目指します。授業中はペアワークをおこないます。		
授業到達目標/Goal	海外留学、あるいは国内で留学生と交流する際を想定し、キャンパス内で必要となる最低限度の英語コミュニケーションをおこなえるようにする、 そのため、英会話の基本フレーズを覚え、状況によって応用できるようにする、 リスニング力を強化する、 以上を目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の予習、復習を確認するアクティビティ(小テスト含む)を中心として、ペアワークを含む演習形式でおこないます。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	キャンパス・イングリッシュ 英会話基本フレーズ ペアワーク		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Campus English (『学生生活を英語でマスター』(2013年、センゲージラーニング))		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	E-Learning : 20% 定期試験 : 40% 小テスト/課題 : 40%		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席することを単位認定の要件とします。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業中にペアワークを頻繁におこないます。積極的に、役柄になりきってスピーキングをおこないましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	April 6 授業の進め方と課題の内容 Unit 1: Where is the PC room?		
第2回	April 13 Unit 2: What does "term" mean? Unit 3: When does Golden Week start?		
第3回	April 20 Unit 4: I'm a member of the International Exchange Club. Unit 5: I have a part-time job as a sales clerk.		
第4回	April 27 Unit 6: What do you think about this program? Unit 7: How will you spend your vacation?		
第5回	May 11 Unit 8: When is the due date? * 3step小テスト1回目		
第6回	May 18 Unit 9: May I take a bath every night? Unit 10: Is this the right bus to go downtown?		

第7回	May 25 Unit 11: Do you need some help? Unit 12: It looks like my GPA has improved.
第8回	June 1 Unit 13: I don't know which to choose. Unit 14: He got a job offer with a copy machine company.
第9回	June 8 Unit 15: How do you make them? Unit 16: It is a celebration day for kids.
第10回	June 15 Unit 17: What is your favorite dish at the cafeteria? Unit 18: What is Christmas like in your country?
第11回	June 22 Unit 19: Your e-mail is full of garbled text. * 3step小テスト2回目
第12回	June 29 Unit 20: I'd like to talk about my research. Unit 21: That's why I applied for the position.
第13回	July 6 Unit 22: Who's your date? Unit 23: Why don't we plan a farewell party?
第14回	July 13 Unit 24: I have set three goals for myself.
第15回	July 27 Units 1-24 まとめ または、Units 1-12テスト
第16回	Aug. 3 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005029	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T8)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mohican007@hotmail.com 欠席報告はメールではなく、後日届けを提出してください。		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせは、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 月・金 昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語でコミュニケーションを成立させるための様々なスキルを考え、これを実践します。今それぞれが持てる英語力で、最大限のコミュニケーション能力を習得出来るようにします。頭で英文を思い描くために、核となるイメージを養っていきます。また、Group Workを通して、コミュニケーションも豊かにとれるよう積極性を持てるようにします。		
授業到達目標/Goal	簡単な日常英会話を躊躇なく運用出来るようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	理解ある同じ受講生とのコミュニケーションは、プレッシャーを軽減する利点があります。受講生同士ペアやグループを組み、その落ち着いた状況で教科書の会話例をもとにテーマに沿って会話を発展させていきます。		
授業内容/Class outline/Con	Text内の、各UnitにはTopicが設けられて基本的なConversationが成されています。そのTopicとConversationを基礎に各自、各グループで考えられるSituationを想定して、Conversationを展開して行きます。日本人に独特な、発音を出来るだけNativeに近いものに修正し、これまで学んできた英語をPracticalなものになるような授業にいたします。 下記には理想的な進行を計画として立てておりますが、クラスの能力によっては進行を遅くする場合も想定されます。		
キーワード/Key word	脱受験英語 イメージからの英語表現へ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Let's Make a Skit Presentation (英宝社) 各自持っている参考書、辞書(英和、和英) この授業では、辞書はかなり重要です。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Class Attendance and Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯操作等マイナス態度) 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Mid-Term Examination 25% Final Examination 40%		
受講要件(履修条件)/Requirements	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人としてのモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。無断欠席回数1/3以上はClass Attendance and Participationを0%と致します。		
学生へのメッセージ/Message for students	中間、期末テストはGroup Workになり、Group内でのコミュニケーションも非常に重要になります。無断欠席、遅刻などは他の受講者にも非常に迷惑をかけることになるので、必ず責任ある態度で講義に望んでください。特に再履修の学生は、この点をよく考えてから決断してください。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4/6 第1回 Introduction		
第2回	4/13 第2回 Unit 1 言語機能別英会話(1) Group Making		
第3回	4/20 第3回 Unit 2,3 言語機能別英会話(2), 主語として便利なwe, you, they Mid-Term Examinationへ向けてTopicを決定		

第4回	4/27 第4回 Unit4,5 疑問文のパターン(1),(2) ~5/1 PowerWords 1回目締切り
第5回	5/11 第5回 Unit 6,7 助動詞を使った文(1),(2) 3step 小テスト
第6回	5/18 第6回 Preparation for the Mid-Term Examination
第7回	5/15 第7回 Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work) ~5/29 PowerWords 2回目締切り
第8回	6/1 第8回 Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work)
第9回	6/8 第9回 Unit 8 名詞節を使った文(1) Group Making
第10回	6/15 第10回 Unit 9 名詞節を使った文(2) Final Examinationに向けてTopicを決定
第11回	6/22 第11回 Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文 3step 小テスト
第12回	6/22 第12回 Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文
第13回	6/29 第13回 Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう!
第14回	7/6 第14回 Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう! ~7/10 PowerWords 3回目締切り
第15回	7/27 第15回 Final Examination, Group Presentation
第16回	8/3 第16回 Final Examination, Group Presentation

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005030	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T9)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前川 智子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	前川 智子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	前川 智子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟13		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2E1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	t-mae@iso-asca.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控え室		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後10分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	自分のこと(詳しい自己紹介)や日常生活(週末のこと、病気や怪我をしたときのこと、休暇中のことなど)を英語で会話したり、人前で大きな声で話せるようになることがねらいである。		
授業到達目標 / Goal	自分のこと(出身、クラブ、アルバイト、仕事、趣味、旅行)や家族のことを英語で詳しく書き、人前で堂々と話すことが出来る。週末や休暇中の出来事などを英語で書き、人前で堂々と話すことが出来る。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。		
授業方法(学習指導法) / Method	コース前半では詳しい自己紹介をするための準備(表現を覚えるなど)と会話練習を行う。後半では日常会話文を学びながら、毎回ペアやグループ内でスキットを読みあったり、週末の出来事などを話す練習を行う。スピーチの準備として、教科書のスキットを元にエッセイを書き(宿題)、それを応用して自分自身の出来事を英語で書く(宿題)。更に、それを暗記してクラスで発表する(スピーチ)。コースを通して一人5回の短いスピーチを行う。教員は原則として英語で指導するので、説明を聞く際にも集中しておくこと。学生もペアやグループ内で話すときも出来るだけ英語で話すように心がけ、授業時間全体を英語コミュニケーションの時間としたい。overlapping, shadowing を行い、英語らしい発音・イントネーションを習得すると共に、リスニング力も向上させる。		

授業内容/Class outline/Con	<p>第1回 Orientation 教科書販売、授業の進め方、スピーチの仕方など / Skit 1: Nice to Meet You, Skit2: Family (会話) Junの自己紹介文の書き方、JunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)</p> <p>第2回 Skit 3-6 : Clubs and Jobs、Hobbies、Traveling、Food and Cooking、更に長いJunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)</p> <p>第3回 JunやHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文の音読練習、Skit 1 ~ 7 練習、スピーチの仕方について</p> <p>第4回 <自分の自己紹介文の最終原稿(パソコンうち)提出> スピーチ1: 自己紹介(一班)</p> <p>第5回 スピーチ1: 自己紹介(二班) Skit8: What's New?, Skit9: How Was Your Weekend? 会話練習、会話文からケン、リカ、ナオト、カオルのことについて(宿題)</p> <p>第6回 リスニング小テスト(1)、Skit 8, 9 の練習、会話練習。上記宿題の音読練習。自分の週末などについて書く(宿題)</p> <p>第7回 会話練習、スピーチ練習</p> <p>第8回 スピーチ2: 週末についてなど(1分以上、全員) Skit 10 を読んで、ヤスとミカについて書く(宿題)</p> <p>第9回 Skit 10: What's Wrong with You? 会話練習。上記宿題の音読練習。自分や家族が病気・怪我などをした時のことを書く(宿題)</p> <p>第10回 スピーチ3: 病気・怪我・失敗談など(1分以上、全員) Skit 12を読んで、マリとユウタについて書く(宿題)</p> <p>第11回 Skit 12: We're Having a Party 会話練習。上記宿題の音読練習。パーティや楽しかったイベントなどについて書く(宿題)</p> <p>第12回 リスニング小テスト(2)、Skit 11: What Are You going to Do in the holiday? 会話練習。Skit11を読んで、タロウとアキについて書く(宿題)</p> <p>第13回 スピーチ4: パーティー、イベント、楽しい話など(1分以上、全員) 夏休みの計画、将来の計画などについて書く(宿題)</p> <p>第14回 <スピーチ5の原稿(パソコンうち)提出> スピーチ練習</p> <p>第15回 一班: スピーチ5: 夏休みの計画、将来の計画などについて(3分以上) 二班: スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)</p> <p>第16回</p>
キーワード/Key word	Speaking
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「English Communication in the Classroom」(開文社出版、前川智子編著)
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>E-Learning (リスニング小テストを含む) 20 %</p> <p>スピーチ5回 60 % (15x2, 10x3)</p> <p>課題提出・授業中の活動 20 %</p> <p>(提出課題は期限厳守のこと)</p>
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。5回以上欠席すると単位は取得できない。スピーチ発表が5回あるので欠席しないように。スピーチ発表日に病気などやむを得ない理由で欠席した場合は翌週の授業で追試験の機会を設けるが、最終発表欠席は正式な手続きが必要となる。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。
学生へのメッセージ/Message for students	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。提出課題は授業開始前に提出のこと。
授業計画詳細	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	Orientation 教科書販売、授業の進め方、スピーチの仕方など / Skit 1: Nice to Meet You, Skit2: Family (会話) Junの自己紹介文の書き方、JunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)
第2回	Skit 3-6 : Clubs and Jobs、Hobbies、Traveling、Food and Cooking、更に長いJunとHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文を書く(宿題)
第3回	JunやHiroの自己紹介文・自分の自己紹介文の音読練習、Skit 1 ~ 7 練習、スピーチの仕方について
第4回	<自分の自己紹介文の最終原稿(パソコンうち)提出> スピーチ1: 自己紹介(一班)
第5回	スピーチ1: 自己紹介(二班) Skit8: What's New?, Skit9: How Was Your Weekend? 会話練習、会話文からケン、リカ、ナオト、カオルのことについて(宿題)
第6回	Skit 8, 9 の練習、会話練習。上記宿題の音読練習。自分の週末などについて書く(宿題)
第7回	3-Step小テスト(1) 会話練習、スピーチ練習, Skit 10
第8回	スピーチ2: 週末について等(1分以上、全員) Skit 10 を読んで、ヤスとミカについて書く(宿題)
第9回	Skit 10: What's Wrong with You? 会話練習。上記宿題の音読練習。自分や家族が病気・怪我などをした時のことを書く(宿題)
第10回	スピーチ3: 病気・怪我・失敗談など(1分以上、全員) Skit 12を読んで、マリとユウタについて書く(宿題)
第11回	Skit 12: We're Having a Party 会話練習。上記宿題の音読練習。パーティや楽しかったイベントなどについて書く(宿題)
第12回	3-Step小テスト(2)、Skit 11: What Are You going to Do in the holiday? 会話練習。Skit11を読んで、タロウとアキについて書く(宿題)

第13回	スピーチ4：パーティー、イベント、楽しい話など（1分以上、全員）夏休みの計画、将来の計画などについて書く（宿題）
第14回	<スピーチ5の原稿（パソコンうち）提出> スピーチ練習
第15回	一班：スピーチ5：春休みの計画、将来の計画などについて（3分以上） 二班：スピーチ観賞と評価（評価レポート提出）
第16回	二班：スピーチ5：春休みの計画、将来の計画などについて（3分以上） 一班：スピーチ観賞と評価（評価レポート提出）

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005031	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2T10)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	ローン 悦子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	ローン 悦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	ローン 悦子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2年2T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn@hotmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本授業では、大学や社会で必要とされる英会話の基礎能力の習得を目指します。学内外で留学生と英語でコミュニケーションを取る機会がある学生さんや、短長期の留学を考えている学生さんがいらっしゃるかもしれません。また、これからの社会は、職場でもまた家庭でも英語が必要とされる機会がどんどん増えることでしょう。本授業を通して、なかなか機会のない英語コミュニケーション活動に慣れ親しみ、これまでの知識としての英語から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけることを目指します。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> (1) 与えられた写真(あるいは絵)を見て的確に英語で表現することができる。 (2) 会話を聞いて要約できる。 (3) その会話の和訳を英訳できる。 (4) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができる。 (5) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等をネイティブとほぼ同じように音読できる。 		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、毎レッスンLACSを使って小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにauthenticな教材(配布物)、洋画を使用し(DVD視聴)、Readers' theater(朗読劇)などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつながり、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めて行きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) LACSによる小テスト (2) テキストを使用した演習(あるいはReaders' theater活動 録音) (3) 3分間(フリーorトピック)トーク 録音 評価 (4) 洋画視聴(5分程度) <p>提出されたグループワーク、Readers' theaterの録音は、添削評価して返却します。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>第1回の授業で扱う内容や学習方法、評価方法を説明します。</p> <p>授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワークを通して出来る限りスピーキングの機会を設けます。スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater(朗読劇)などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、自分の会話を録音して接続表現、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキスト付属のオンラインワークブック、Self-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価20%)。</p>		
キーワード/Key word	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 3 Student's Book B with Online Workbook』 Cambridge University Press - ISBN:9781107668614を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		

成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験30%、授業中の発表及び積極的な姿勢、小テスト、グループワーク、Readers' theater等50%、課外学習のe-learning 20%(3 Step Call System10%, PowerWords10%)を総合的に判断します。
受講要件(履修条件)/Requirements	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参、また毎回授業に出席すること(時間厳守)。各自テキスト付属のオンラインワークブック、Self-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。
学生へのメッセージ/Message for students	英語が話せると世界(チャンス)が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
授業計画詳細	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	第1回 4月6日 オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)
第2回	第2回 4月13日 テキストOnline Workbookの初期設定、Relationships Warm up
第3回	第3回 4月20日 Relationships
第4回	第4回 4月27日 Readers' theater e-learning復習他(5/12年生Power Words 1回目締め切り)
第5回	第5回 5月11日 3 Step 小テスト Relationships
第6回	第6回 5月18日 Relationships
第7回	第7回 5月25日 On Vacation Warm up(5/29年生Power Words 2回目締め切り)
第8回	第8回 6月1日 On Vacation
第9回	第9回 6月8日 Readers' theater
第10回	第10回 6月15日 On Vacation e-learning復習他
第11回	第11回 6月22日 3 Step 小テストMusic Warm up
第12回	第12回 6月29日 Music
第13回	第13回 7月6日 Music(7/10年生Power Words 2回目締め切り)
第14回	第14回 7月13日 Music or Readers' theater
第15回	第15回 7月27日 Review
第16回	第16回 8月3日 定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005032	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2D1・2D2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 真弓		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 真弓		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 真弓		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	2D1・2D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、それ以外はメールで連絡してください		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本語と対訳で英語の単語を覚えるのではなく、英語のコアの意味をイメージし、英語の表現の幅を広げる。リスニングに関しては、音の変化に気づき、英語らしいリズムで音読できるように練習することで、リスニング力の向上を目指す。		
授業到達目標/Goal	英語のコアのイメージをつかみ、英語の表現力の幅を広げる。それにより、英語での発信力を向上させることを目標とする。リスニングに関しては、英語の音変化を知り、自然な英語が聞き取れるようにする。		
授業方法(学習指導法) / Method	毎回表現の小テストを行う。テキストは事前に予習をしてくるように。授業内ではテキストの他に、新聞記事を読ませる。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	西原俊明他 『Better Health for Every Day』 (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	中間・定期試験70%、小テスト10%、課外学習e-learning 20%		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Unit 1 Fuel Your Body and Mind		
第2回	Unit 1 の表現テスト Unit 2 What Helps Keep a Doctor Away?		
第3回	Unit 2 の表現テスト Unit 3 Laughing Will Save You from Going Crazy		
第4回	Unit 3 の表現テスト Unit 4 The French Paradox		
第5回	Unit 4 の表現テスト Unit 5 American's Interest in Sushi 3 step 小テスト		
第6回	Unit 5 の表現テスト Unit 6 Don't Stay Away from Natto		
第7回	中間テスト Unit 7 Acute Alcohol Intoxication Can Kill You		
第8回	Unit 7 の表現テスト Unit 8 Is Snoring A Bad Sign?		
第9回	Unit 8 の表現テスト Unit 9 Getting A Good Night's Sleep is a Challenge		
第10回	Unit 9 の表現テスト Unit 10 Chocolate and its Magical Power		

第11回	Unit 10 の表現テスト Unit 11 The Health Risks of Eating Processed Food 3 step 小テスト
第12回	Unit 11 の表現テスト Unit 12 Is Genetically Modified Food Safe Enough?
第13回	Unit 12 の表現テスト Unit 13 Environmental Health Threats
第14回	Unit 13 の表現テスト Newspaper Articles
第15回	News paper Articles
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005033	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2F1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤内 則光		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤内 則光		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤内 則光		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2F1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiiuchi@nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (内線335)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標/Goal	CNN放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。		
授業方法(学習指導法)/Method	CALL教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。		
授業内容/Class outline/Con	<p>教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。</p> <p>授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。</p> <p>主教材は、主に現代日本の時事に関するNHK BSのニュースを題材にしたDVD教材。第1回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属のDVDを見て、事前に予習をすること。</p> <p>授業の進行が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVDを見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。また、最終試験の評価割合が少ないので、時間外の学習を怠らないように。</p> <p>定期試験 16回目開講時</p>		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	主教材: What's on Japan 9(金星堂) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>全て主教材より</p> <p>定期試験60%(単語理解8%、本文内容ディクテーション 14%(部分点あり)、内容理解28%、課題英作文 10%(部分点あり))</p> <p>平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出)</p> <p>課外学習のe-learning 20%(3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。</p>		
受講要件(履修条件)/Requirements	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10/1 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認		
第2回	10/8 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ		
第3回	10/15 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ		
第4回	10/22 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ		
第5回	10/29 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ		
第6回	11/5 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ		

第7回	11/12 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ 3-Step CALL 小テスト 1回目
第8回	11/19 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ
第9回	11/26 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ
第10回	12/3 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ
第11回	12/10 副教材 Unit 12、主教材 教科書継続、または新章へ
第12回	12/17 副教材 Unit 13、主教材 教科書継続、または新章へ 3-Step CALL 小テスト 2回目
第13回	12/24 副教材 Unit 14、主教材 教科書継続、または新章へ
第14回	1/7 副教材 Unit 21、主教材 教科書継続、または新章へ
第15回	1/14 副教材 Unit 24、主教材 教科書終了
第16回	2/4 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005034	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2F2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村岡 三奈子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	村岡 三奈子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	村岡 三奈子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟31		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2F2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	muraoka@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	映画を教材として、場面や状況に応じた生きた英語表現を身につけることを目指す。		
授業到達目標/Goal	基本的構文および文法事項に留まらず、生きた英語表現や文化的知識を身につけることが出来る。		
授業方法(学習指導法) / Method	原則として、毎週、テキストを1章ずつ進めながら、英語の4技能をバランスよく学習する。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	English Communication		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Good Will Hunting (SHOHAKUSHA)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト: 10% Discussion 課題: 10% プレゼンテーション: 10% 定期試験: 50% 課外学習の e-learning: 20% (詳細は第1回目の授業で説明)		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回、授業のはじめに単語クイズをしますので、テキストの該当箇所を予習して臨んでください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10月 1日: イントロダクション		
第2回	10月 8日: 第1章		
第3回	10月15日: 第2章		
第4回	10月22日: 第3章		
第5回	10月29日: 第4章		
第6回	11月 5日: 第5章		
第7回	11月12日: 第6章 / 3-step 小テスト		
第8回	11月19日: 第7章		
第9回	11月26日: 第8章		
第10回	12月 3日: 第9章		
第11回	12月10日: 第10章		
第12回	12月17日: 第11章 / 3-step 小テスト		
第13回	12月24日: 第12章		
第14回	1月 7日: プレゼンテーション準備		
第15回	1月14日: プレゼンテーション		
第16回	1月28日: 定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005035	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2F3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[教育]本館4F第41講義室		
対象学生(クラス等) / Object Student	2F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜 2 限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は、英語の表現形式に親しみ、使い、練習しながら、英語的な思考・表現の理解を深め、読む、書く、聞く、話すというコミュニケーション技能を統合して高めることに重点をおきます。		
授業到達目標/Goal	コミュニケーション能力を習得するために、英語の論理で成り立った、基礎的な情報伝達パターンの理解を深め、相手の意見を把握し、自分の考えを相手に伝えるコミュニケーション技能を習得し、英語学習への関心と自信を持つことを目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	短い練習問題からはじめ、授業の進度に応じてニュース等の具体例の検討を通して、グループワークや発表を行います。また、必要に応じて文法や語句の説明を行います。		
授業内容/Class outline/Con	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観し、英語の表現形式を確認しながら授業を進めます。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることもあります。		
キーワード/Key word	コミュニケーション能力、クリティカルシンキング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Thinking in English: Language Skills and Information Mapping for Clear Communication Cengage 1700yen 英語の辞書 必要に応じてハンドアウトを適宜配布。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	E - Learning (20%)、授業活動・課題への積極的参加(40%)、期末試験(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	基本的に授業には毎回遅れないよう出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で1回の欠席とカウントしますので注意してください。最初の授業は、この授業の計画を説明するので必ず出席してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	introduction		
第2回	unit1		
第3回	unit1		
第4回	unit2		
第5回	unit2		
第6回	unit3		
第7回	unit3 3 Step小テスト		
第8回	unit4		
第9回	unit4		
第10回	unit5		
第11回	unit5		
第12回	unit6 3 Step小テスト		
第13回	unit6		
第14回	unit6		

第15回	review
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005036	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2P1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	隈上 麻衣		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	隈上 麻衣		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	隈上 麻衣		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	2P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mkumagami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター(環境科学部1階)114		
担当教員TEL/Tel	095-819-2172		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜3限(メールでも受け付ける)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本授業では、下記のテキストを使用し、リスニング・スピーキングの力を向上させる。英語の音の特徴を概観し、それを意識した上で聞き取り練習や発音練習(音読)を繰り返し行い、英語を運用するための基礎力を養う。		
授業到達目標/Goal	様々なトピックを扱うことにより語彙力などの基礎力を向上させ、(i) 英語の会話・談話の大意が素早く掴めるようになるとともに、(ii) 与えられた課題に関して、簡潔に自分の意見が述べられるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回小テストを実施する。各Unitの聞き取りを行った後、キーワード・センテンスの確認、関連項目についてのディスカッションを行う。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	CNN Student News, Asahi Press 初回の授業にて教科書販売を行う。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Attendance & Participation (10%), Presentation (20%), Quiz (20%), Final Exam (30%), e-learning (20%: 3 Step CALL and PowerWords 10% each)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation, Self-introduction		
第2回	Unit 1		
第3回	Unit 2		
第4回	Unit 3		
第5回	Unit 4		
第6回	3Step 第1回小テスト, Unit 5		
第7回	Unit 6		
第8回	Unit 7		
第9回	Presentation		
第10回	Presentation		
第11回	Unit 8		
第12回	3Step 第2回小テスト, Unit 9		
第13回	Unit 10		
第14回	Unit 11		
第15回	Unit 12		
第16回	Final Exam		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005037	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2P2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲田 俊明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲田 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	稲田 俊明		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	2P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inadat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜2限(事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の論説やニュースを、要約して発表する。 課題について英語で論述する。 課題について英語で論じ、プレゼンテーションをする。		
授業到達目標/Goal	英語の論説やニュース記事を、簡潔に要約ができるようになる。 課題について、英語で議論するための基礎的なライティング能力を身に付ける。 課題について、英語でプレゼンテーションする能力を身に付ける。		
授業方法(学習指導法)/Method	配布資料の英文の要約とニュースの聞き取りを行う。 毎週、語彙テストを行う。 英文要約課題、英文課題作文の提出を求める。		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材は授業で配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	指定する e-learning 教材 20% 授業中の課題 20%、 期末テスト 60%		
受講要件(履修条件)/Requirements	同クラスの履修経験のないもの		
学生へのメッセージ/Message for students	事前に、教材と指定された課題を十分に学修しておくこと。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	COURSE OUTLINE (導入): 教材配布		
第2回	英文要約教材(1)		
第3回	英文要約教材(2)		
第4回	Listening Comprehension Quiz (第1回) TBA		
第5回	英文要約課題(1)		
第6回	3-STEP 小テスト(1) 英文要約課題(2)		
第7回	Listening Comprehension Quiz (第2回) TBA		
第8回	英文課題作文(1)		
第9回	英文課題作文(2)		
第10回	Listening Comprehension Quiz (第3回) TBA		
第11回	英文交渉メールの基礎と練習		

第12回	3-STEP 小テスト (2) 英語課題作文 (3)
第13回	英語プレゼンテーション (1)
第14回	英語プレゼンテーション (2)
第15回	英語プレゼンテーション (3)
第16回	期末試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005038	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2G1)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[多文化] 2号館 12F パソコン室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(2G1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月3 火4 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、いろいろな会話場面で十分コミュニケーション活動が行えるようにします。また、日本文化に関して、英語で説明できるような簡単なプレゼンの練習も行い、自信を持って英語を発信できるようにします。		
授業到達目標/Goal	テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化し、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースやダイアログなら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンを、自信をもって英語でできるようにします。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、リスニングを十分してから、授業に臨んでください。授業では、CDとプリントを用いて問題練習に挑戦してもらいます。また、重要例文の発話練習を行います。また、それらの英文を利用して、ダイアログを作成したり、テキストの英文を参考にして、簡単な日本文化に関するプレゼンの練習をします。また、2回程度、プレゼンテーション用のスピーチ用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。		
授業内容/Class outline/Con	<p>e-learning 教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自の小テストを行います。</p> <p>授業はテキストを用いて、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、テキストのダイアログを確認したり、プリントを用いて日本文化を語るための簡単な英文を作成したりします。</p> <p>さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。</p> <p>なお、e-learning 教材を課題学習として、授業外に行ってもらいますが、授業中も20分程度、3 Step と Power Wordsの学習をしてもらい、その内容の指導や小テストも行います。</p> <p>この授業に関しては、決して受身的な態度で参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		
キーワード/Key word	Repeating, Pair Work, Listening Strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): グローバル時代の英語(NHK出版) ¥1,700		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、プレゼンペーパー20% 授業でのアクティビティ10% e-learning 20% で行います。 e-learning の内容に関しては、1回目の授業時に説明します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること		

学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning 教材(3 Step やパワーワーズ)やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション リピーティング練習体験 グローバル英語Unit 1 日本文化を語る 1 Power Words Level 8 Unit 1-5 3 STEP College Life 3 Step New York Lives,
第2回	グローバル英語 Unit 1 日本文化を語る 1 Power Words Level 8 Unit 6-10 3 STEP College Life
第3回	グローバル英語 Unit 1 日本文化を語る 2 Power Words Level 8 テスト 3 STEP College Life
第4回	グローバル英語 Unit 2 日本文化を語る 2 Power Words Level 8 Unit 11-15 3 STEP College Life
第5回	グローバル英語 Unit 2 日本文化を語る 3 Power Words Level 8 Unit 16-20 3 STEP College Life
第6回	グローバル英語 Unit 3 日本文化を語る 3 Power Words Level 8 テスト 3 STEP College Life
第7回	グローバル英語 Unit 3 日本文化を語る 4 Power Words Level 8 Unit 21-25 3 STEP College Life 小テスト
第8回	グローバル英語 Unit 4 Power Words Level 8 Unit 26-30 小プレゼン発表
第9回	グローバル英語 Unit 4 日本文化を語る 5 Power Words Level 8 テスト 3 STEP College Life
第10回	グローバル英語 Unit 5 日本文化を語る 5 Power Words Level 8 Unit 31-35 3 STEP College Life
第11回	グローバル英語 Unit 5 日本文化を語る 6 Power Words Level 8 Unit 36-40 3 STEP College Life

第12回	<p>グローバル英語 Unit 6 日本文化を語る 6 Power Words Level 8 テスト 3 STEP College Life 小テスト</p>
第13回	<p>グローバル英語 Unit 6 日本文化を語る 7 Power Words Level 8 Unit 41-50 3 STEP College Life</p>
第14回	<p>グローバル英語 Unit 7 日本文化を語る 7 Power Words Level 8 Unit 46-50 3 STEP College Life</p>
第15回	<p>プレゼン発表 Power Words Level 8 テスト</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005039	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2G2)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[多文化] 2号館 3 F 3 A 講義室		
対象学生(クラス等) / Object Student	(2G2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受付		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業を通して、英語を発信型言語のツールとして活用していく機会とする。		
授業到達目標/Goal	ある程度まとまった内容の英文を平易な英語で要約が素早く簡潔に行えるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業では、前半をリスニングのテストゼミを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いて日本語・英語双方による要約を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	summary writing		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	リスニング(20%), 課題(20%), E-learning教材(20%), 定期試験(40%)		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, Sample Listening Test		
第2回	Listening 1, テキストUnit 3 (Fill-in-the-blanks summary)		
第3回	Listening 2, テキストUnit 5 (Questions&Answers in Japanese)		
第4回	Listening 3, テキストUnit 8(Fill-in-the-blanks summary)		
第5回	Listening 4, テキストUnit 11(Fill-in-the-blanks summary)		
第6回	Listening 5, テキストUnit 15(Fill-in-the-blanks summary)		
第7回	3Step小テスト(1)(約30分程度) DVD教材(1), Dictation		
第8回	DVD教材(2), Dictation		
第9回	Listening 6, Email writing (1)		
第10回	Listening 7,		
第11回	Listening 8, Email writing (2)		
第12回	3Step小テスト(2), Email writing (3)		
第13回	Listening 9, Email writing (4)		
第14回	Listening 10, まとめ(1)		
第15回	まとめ(2)		
第16回	定期試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/14		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005040	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2G3)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[多文化] 2号館 5F CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	2G3 再履修生の受講不可		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	授業外ではインプットを重視したリスニングを行い、授業中にはアウトプットを重視した活動を取り入れる。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でプレゼンテーションを行い、相手に正確な情報を伝えられるようになること。 ・英語のプレゼンテーションで必要となる表現を身につけること。 		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>反転授業を取り入れた授業を行う。</p> <p>授業で扱う内容は授業前に学習し、内容理解をしておく。授業中は、その内容を発展させた活動を取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら英語の運用能力の養成を図ります。</p>		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	3-Step CALL System (e-learning)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト: 20% ・期末試験: 30% ・提出物、グループワークの成果物: 30% <p>(自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning: 20% <p>(PowerWords 10%: 単語の教材のレベルを1上げること 3-Step CALL System 10%: 2回のUNITテスト)</p>		
受講要件(履修条件)/Requirements	再履修生は受講できません。		
学生へのメッセージ/Message for students	リスニング力を上げるためには、毎日少しの時間でも英語を耳にする時間を作りましょう!!		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 教材の説明、成績についての説明 グループ作り アンケートの実施		
第2回	興味のある事柄について考える プリント教材		
第3回	興味のある事柄について考える プリント教材		
第4回	興味のある事柄について考える プリント教材		
第5回	発表準備		
第6回	発表		
第7回	3-STEP小テスト1回目 発表の振り返り		
第8回	「企業」について考える プリント教材		
第9回	「企業」について考える プリント教材		

第10回	「企業」について考える プリント教材
第11回	発表準備
第12回	3-STEP小テスト2回目 発表
第13回	新年の誓い プリント教材 発表
第14回	新年の誓い プリント教材 発表
第15回	まとめ
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005041	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語上級者クラス(英語コミュニケーション)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	TOEICスコア650点以上の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	B棟1F		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に英文の大意を素早く捉え、日本語でまとめる訓練を行い、かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回、プリント教材を用いてreading技能、とりわけ大意把握や要約に特化した、訓練を行う。また、日本語及び英語での要約を課し、添削指導を行いながら論理的な文を書けるようになる基礎固めを行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	reading strategies, academic writing		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 課題の提出状況及び授業への取り組み(60%) * 真摯にこのクラスに取り組み、成績評価はAAとなります。		
学生へのメッセージ/Message for students	英語上級者クラスでは、定期試験を行いませんが、通常クラスと同じようにeラーニング教材を課しながらも、大意要約を行うリーディング力を培うと同時に、学術的英文を書けるよう添削指導を行います。 この上級者クラスは、少人数形式で行うこともあり、学生のレベルにあった方法や教材を提供できること。それに添削指導等の細やかな指導を行います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, e-learning教材の説明, sample reading		
第2回	プリント教材(1)		
第3回	プリント教材(2)		
第4回	プリント教材(3)		
第5回	プリント教材(4)		
第6回	3Step小テスト(1)(約30分程度), プリント教材(5)		
第7回	プリント教材(6)		
第8回	プリント教材(7)		
第9回	プリント教材(8)		
第10回	プリント教材(9)		
第11回	プリント教材(10)		
第12回	3Step小テスト(2), プリント教材(11)		
第13回	G-TELP		
第14回	プリント教材の総復習		
第15回	まとめ		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005042	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語上級者クラス(英語コミュニケーション)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	隈上 麻衣		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	隈上 麻衣		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	隈上 麻衣		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育, 経済, 薬, 水産		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mkumagami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	言語教育研究センター(環境科学部1階)114		
担当教員TEL/Tel	095-819-2172		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜3限(メールでも受け付ける)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	論理的に英文の大意を素早く捉え, 日本語でまとめる訓練を行い, かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標 / Goal	まとまった英文の大意をつかみながら, 日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	毎回, プリント教材を用いてreading技能, とりわけ大意把握や要約に特化した, 訓練を行う。また, 日本語及び英語での要約を課し, 添削指導を行いながら論理的な文を書けるようになる基礎固めを行う。		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	reading strategies, academic writing		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教材は授業時に指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 課題の提出状況及び授業への取り組み(60%) *真撃にこのクラスに取り組みれば, 成績評価はAAとなります。		
学生へのメッセージ / Message for students	英語上級者クラスでは, 定期試験を行いませんが, 通常クラスと同じようにeラーニング教材を課しながらも, 大意要約を行うリーディング力を培うと同時に, 学術的英文を書けるよう添削指導を行います。 この上級者クラスは, 少人数形式で行うこともあり, 学生のレベルにあった方法や教材を提供できること。それに添削指導等の細やかな指導を行います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation, Self-Introduction		
第2回	プリント教材(1)		
第3回	プリント教材(2)		
第4回	プリント教材(3)		
第5回	プリント教材(4)		
第6回	3Step 第1回小テスト, プリント教材(5)		
第7回	プリント教材(6)		
第8回	プリント教材(7)		
第9回	プリント教材(8)		
第10回	プリント教材(9)		
第11回	プリント教材(10)		
第12回	3Step 第2回小テスト, プリント教材(11)		
第13回	G-TELP		
第14回	プリント教材(12)		
第15回	まとめ		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005043	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語上級者クラス(英語コミュニケーション)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生(クラス等) / Object Student	医, 保健, 歯, 工, 環境		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境科学部東棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	論理的に英文の大意を素早く捉え、日本語でまとめる訓練を行い、かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標 / Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	毎回、プリント教材を用いてreading技能、とりわけ大意把握や要約に特化した、訓練を行う。また、日本語及び英語での要約を課し、添削指導を行いながら論理的な文を書けるようになる基礎固めを行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	reading strategies, academic writing		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 課題の提出状況及び授業への取り組み(60%) *真撃にこのクラスに取り組み、成績評価はAAとなります。		
学生へのメッセージ / Message for students	英語上級者クラスでは、定期試験を行いませんが、通常クラスと同じようにeラーニング教材を課しながらも、大意要約を行うリーディング力を培うと同時に、学術的英文を書けるよう添削指導を行います。 この上級者クラスは、少人数形式で行うこともあり、学生のレベルにあった方法や教材を提供できること。それに添削指導等の細やかな指導を行います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, e-learning教材の説明, sample reading		
第2回	プリント教材(1)		
第3回	プリント教材(2)		
第4回	プリント教材(3)		
第5回	プリント教材(4)		
第6回	3Step小テスト(1)(約30分程度), プリント教材(5)		
第7回	プリント教材(6)		
第8回	プリント教材(7)		
第9回	プリント教材(8)		
第10回	プリント教材(9)		
第11回	プリント教材(10)		
第12回	3Step小テスト(2), プリント教材(11)		
第13回	G-TELP		
第14回	プリント教材の総復習		
第15回	まとめ		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005044	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語上級者クラス(英語コミュニケーション)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育、経済、薬学、水産		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月3 火4 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に英文の大意を素早く捉え、日本語でまとめる訓練を行い、かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回、プリント教材を用いてreading技能、とりわけ大意把握や要約に特化した、訓練を行う。また、日本語及び英語での要約を課し、添削指導を行いながら論理的な文を書けるようになる基礎固めを行う。		
授業内容/Class outline/Con	授業は、プリントを用いて、基礎的な読みやすい論文に挑戦します。また、テキストを用いて、グローバルなビジネスの場면을学習しながら、リスニングやスピーキング力を要請します。		
キーワード/Key word	'reading strategies, academic writing		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): グローバル時代の英語(NHK出版) 1,600円 教材 : プリント教材 必要に応じて毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 課題の提出状況及び授業への取り組み(60%) * 真摯にこのクラスに取り組めば、成績評価はAAとなります。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
学生へのメッセージ/Message for students	英語上級者クラスでは、定期試験を行いませんが、通常クラスと同じようにeラーニング教材を課しながらも、大意要約を行うリーディング力を培うと同時に、学術的英文を書けるよう添削指導を行います。 この上級者クラスは、少人数形式で行うこともあり、学生のレベルにあった方法や教材を提供できること。それに添削指導等の細やかな指導を行います。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション Introduction, e-learning教材の説明, sample reading e-learning 3 STEP Power Words		
第2回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 1 3 STEP パワーワーズ		
第3回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 1 3 STEP パワーワーズ		

第4回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 2 3 STEP パワーワーズ
第5回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 2 3 STEP パワーワーズ
第6回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 3 3 STEP パワーワーズ
第7回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 3 3Step小テスト(1) (約30分程度)
第8回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 4 3 STEP パワーワーズ
第9回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 4 3 STEP パワーワーズ
第10回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 5 3 STEP パワーワーズ
第11回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 5 3 STEP パワーワーズ
第12回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 6 3Step小テスト(2) (約30分程度)
第13回	G - T E L P
第14回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 6 3 STEP パワーワーズ
第15回	プリント教材(1) テキストグローバル英語 Unit 7 3 STEP パワーワーズ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005045	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E7)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	FRITZ ROBINSON ENRIQUE		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	FRITZ ROBINSON ENRIQUE		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	FRITZ ROBINSON ENRIQUE		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	rob-fritz@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	503 (本館経済学部)		
担当教員TEL / Tel	095 820 6398		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日 5限		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	This class will use English in music and film to develop students' critical thinking, increase their general knowledge/discussion skills and become more aware of the different registers used in English.		
授業到達目標 / Goal	Students will be active at all times. Students will be expected to work in groups and pairs. There will be no focus on grammar or vocabulary, instead the focus will be on active communication and fluency.		
授業方法 (学習指導法) / Method	The students goals are: - think and discuss themes in film and music - learn and practice how to find the many meanings in music and film - learn and practice communication strategies - become more open minded and knowledgable		
授業内容 / Class outline/Con	Students will be active at all times. Students will be expected to work in groups and		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	No textbook. The teacher will give hand-outs and other materials in every class.		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	Classroom participation: 25% Homework: 30% Final report 25% 3 Step Call system: 10% Net Academy: 10%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回	Introductions		
2回	Poems – helping you to think		
3回	What is critical thinking?		
4回	Music genres		
5回	Music genres		
6回	TV Drama part 1		
7回	TV Drama part 1		
8回	Images in music promotional videos (PV)		
9回	Images in music promotional videos (PV)		
10回	Film part 1		
11回	Film part 2		
12回	Lyrics in songs		

13回	Lyrics in songs
14回	Metaphors and similes
15回	Metaphors and similes
16回	Review

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005046	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E8)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	TOM DESI FAYMIN		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	TOM DESI FAYMIN		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	TOM DESI FAYMIN		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	desi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	Katafuchi - Hon Kan 607		
担当教員TEL / Tel	095-820-6395		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Monday 16:15 - 17:00, Thursday 16:15-17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	This class is the final in a series of courses designed to develop the English communication skills necessary for study at a university started in Communication I and continued in Communication II. These skills include, but are not limited to, forming an opinion, giving reasons, taking turns and leading a discussion. In addition, other English skills such as listening, speaking, reading, writing, presentation and intercultural communication in an academic and non-academic setting will be taught and practiced. In order to successfully complete this course, students must work hard to build up their language and study skills to a point they can understand classes taught in English and communicate with people of another culture. Students who take this course are expected to attend all classes, complete many in-class and outside-class assignments and interact with the teacher and other students.		
授業到達目標 / Goal	Discussions, class assignments and textbook work.		
授業方法(学習指導法) / Method	Students will gain a deeper understanding of what is Japanese Culture and learn how to explain it in English.		
授業内容 / Class outline/Con	Course Schedele		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	none		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	Assignments 15% Participation 25% Quizzes 10% Reading 10% Power Words 10% 3-Step CALL System 10% Final Exam 20%		
受講要件(履修条件) / Requirements	Students are expected to attend all classes and will be excused for legitimate medical or personal reasons as determined by the instructor. However, participation points will be lost for absences of any reason. Students who have 5 unexcused absences will be asked to withdraw from the course. You must send the teacher an email whenever you miss class, so he can inform you of what you missed. If you do not tell the teacher about a legitimate reason for missing class, it will be counted as unexcused.		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	Let's talk about real Japanese culture.		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	Introductions - Class Overview		
2回	Topic 1		
3回	Topic 1		

4回	Topic 2
5回	Topic 2
6回	Topic 3
7回	Topic 3
8回	Topic 4
9回	Topic 4
10回	Topic 5
11回	Topic 5
12回	Topic 6
13回	Topic 6
14回	Topic 7
15回	Topic 7
16回	Final Exam

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/01/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005047	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション (2E9)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古村 由美子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古村 由美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古村 由美子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fuyumiko2@live.jp		
担当教員研究室/Laboratory	531		
担当教員TEL/Tel	(095)820-6394		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Anytime, but please email me before coming to the office		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	Aim of the subject: To deeply understand students' own culture and foreign cultures by research, explanation, and discussions with foreign students and Japanese students; To improve skills in team work and communication in English; To get students better prepared for visiting or studying abroad.		
授業到達目標/Goal			
授業方法(学習指導法)/Method	Teaching method(授業方法): Dictogloss activities, Lecture, Research, Discussion in classroom and on the Face Book & the forum site.		
授業内容/Class outline/Con	Class descriptions/each class's contents Students will upgrade their communication skills in English, their Intercultural Communicative Competence and understanding of cultural diversities, and integrate knowledge with skills acquired through Dictogloss activities on Japanese culture, and communication with Taiwanese and Japanese students.		
キーワード/Key word	Research, presentations, discussion, communication skills in English, Intercultural Communicative Competence, and understanding of cultural diversities		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Materials will be provided by the instructor		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	1. Attendance and Participation (10%) 2. Discussion (3% x 5) 3. Journals (5% x 5) 4. Presentation (10%) 5. Essay (20%) 6. Mimi tests of 'People at Work' on 3-Step CALL System (5% x 2) 7. Achievements in Power Words: Level 6 (5% x 2)		
受講要件(履修条件)/Requirements	No credit with more than 5 times absence		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	Need to be familiar with Face Book activities and do all assignments as required. Positive		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation, make the Face Book ID		
第2回	Self-introduction, Tokyo/Edo		
第3回	Self-introduction, Population of Japan		
第4回	Cross-cultural communication experiences, Landscape and Size of Japan		
第5回	Cross-cultural communication experiences, Japanese Characters		
第6回	Mini test no1. Social Media, Polite Forms		
第7回	Social Media, Vending Machines		
第8回	Gender, AKB48		
第9回	Gender, Otaku		
第10回	Marriage, The Imperial Family		

第11回	Mini test no2. Marriage, Samurai
第12回	The joint project for final presentation
第13回	Final Project Presentation
第14回	Communication with 1st year students about visiting or study abroad on the forum site
第15回	Communication with 1st year students about visiting or study abroad on the forum site
第16回	Essay writing as the term examination